

クラウド 帳票発行サービス カスタマイズ設定マニュアル

Ver13.0.0

更新日：2023/2/14

目次

1.....はじめに.....	4
1-1 本マニュアルについて	4
1-2 基本的な注意.....	4
1-3 サービスの大きな流れについて	5
2.....CSV 仕様について.....	6
3.....顧客マスタ項目と CSV の取込設定	7
3-1 顧客項目の設定	7
3-2 顧客項目の追加方法	9
3-3 顧客 CSV の取込フォーマット設定	11
3-4 顧客 CSV の取込フォーマットの複数設定	14
3-5 宛先コード（宛先まとめ機能）について	15
3-6 その他システム項目の設定方法	18
4.....帳票の登録と CSV の取込設定	19
4-1 帳票レイアウトの設定にあたり	19
4-2 帳票項目の設定	21
4-3 帳票項目の追加方法	22
4-4 帳票の登録	25
4-5 帳票 CSV の取込フォーマット設定	26
5.....帳票 CSV 項目の計算・結合処理の設定	30
5-1 計算・結合処理の設定方法（基本操作）	30
5-2 合計項目の設定について.....	34
5-3 明細集計項目の設定について	36
5-4 明細集計項目の条件付き設定について	38
5-5 かけ算・わり算項目の設定について.....	40
5-6 結合項目の設定について.....	44
5-7 計算項目の編集	46
5-8 計算項目の削除	47
6.....帳票レイアウト編集	48
6-1 エリアについて	49
6-2 レイアウトの設定について	51
6-3 表示内容の設定について.....	58
6-4 可変文字の参照項目の設定について.....	59
6-5 可変文字の表示設定について（日付/数値/通貨）	60
6-6 画像の表示	62
7.....見出しエリアの設定ポイント	64
7-1 帳票の宛先情報を表示するエリアの設定ポイント	64
7-2 帳票の差出人情報を表示するエリアの設定ポイント	65
7-3 見出し項目での設定ポイント	68
7-4 見出し項目の条件付き表示設定.....	70
8.....明細エリアの設定ポイント	73
8-1 明細項目での設定ポイント	73
8-2 明細項目の条件付き表示設定	74
8-3 明細項目のグループ設定.....	77

9.....	領収書レイアウト編集.....	80
9-1	領収書レイアウトの設定にあたり.....	80
9-2	領収書レイアウトのエリアについて.....	82
9-3	印紙の表示.....	83
9-4	領収書レイアウトの設定ポイント.....	84
10.....	設定済み帳票の管理.....	86
10-1	帳票のコピー.....	86
10-2	帳票設定の削除.....	87
10-3	帳票名の変更.....	88
10-4	帳票ごとの宛先コード利用の ON/OFF 設定.....	89
10-5	帳票ごとの金額項目の設定.....	90
10-6	帳票ファイル一括取込時に CSV ファイルを合わせて取り込む設定.....	91
11.....	帳票のファイル名設定.....	93
11-1	帳票ファイル名のルール設定.....	93

1. はじめに

1-1 本マニュアルについて

本マニュアルでは、クラウド帳票発行サービスでの顧客マスタに関する設定と、帳票レイアウトやそのCSVの取込設定の操作について説明しています。

クラウド帳票発行サービスの基本的なご利用方法については、別途お渡しをしている「クラウド帳票発行サービス 管理者向けご利用マニュアル」をご確認ください。

既に弊社で帳票や顧客マスタのカスタマイズを実施済みのお客様は、本マニュアルとは初期設定内容などが一部異なります。あらかじめ、ご了承のほどお願いいたします。

■本マニュアルでの表記について

本マニュアルで用いる注意書きは、以下のように色で内容の違いを示しています。

赤：特に注意していただきたい点

オレンジ：注意

黄：参考

1-2 基本的な注意

クラウド帳票発行サービスでは、ブラウザの戻るボタンをお使いになるとエラーが発生することがあります。画面を切り替える際はクラウド帳票発行サービス内のボタンなどを用い、ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。

※1 台の PC 上で、複数のブラウザ画面から同時に操作することには対応しておりません。ご入力いただいた内容がキャンセルされることがありますので、1 つのブラウザ画面から操作してください。

1-3 サービスの大まかな流れについて

クラウド帳票発行サービスを導入した場合の、帳票処理の大まかな流れは以下のようになります。
それぞれの処理の際の作業手順については各マニュアルをご確認ください。

■ 初期設定

帳票発行までに必要な初期設定を行います。

→ 「クラウド帳票発行サービス・管理者向けご利用マニュアル」参照



■ 顧客マスタの項目・CSV 取込設定

顧客マスタの項目設定と CSV 取込設定を行います。

→ 「[3.顧客マスタ項目と CSV の取込設定](#)」参照



■ 帳票レイアウトと CSV の取込設定

帳票レイアウトと CSV の取り込み設定を行います。

→ 「[4.帳票の登録と CSV の取込設定](#)」

「[6.帳票レイアウト編集](#)」参照



■ 顧客情報の登録・編集

発行先となる顧客の情報を登録・編集します。

→ 「クラウド帳票発行サービス・管理者向けご利用マニュアル」参照



■ 帳票の発行

帳票データを取込み、発行先側 Web サイトへ帳票を発行します。

→ 「クラウド帳票発行サービス・管理者向けご利用マニュアル」参照

本マニュアルは「顧客マスタの取込設定」と「帳票レイアウトと CSV の取込設定」専用のマニュアルです。その他の内容については、「クラウド帳票発行サービス・管理者向けご利用マニュアル」をご確認ください。

帳票レイアウトと CSV の取込設定は、弊社にて設定作業を行っているお客様はご対応いただく必要はありません。

2. CSV 仕様について

クラウド帳票発行サービスでは、取り込む CSV データの仕様を以下の通り定義しています。

顧客および帳票 CSV データのご準備にあたり、ご確認ください。

項目	説明
フォーマット	CSV ファイルのみとなります。(tsv ファイル等には対応しておりません。)
文字コード	Shift_JIS
文字フォント	帳票 PDF への印字可能フォントは「明朝体」「ゴシック体」となります。
改行コード	CR+LF (¥r¥n)
ヘッダ行の有無	どちらでも問題ございません。 ヘッダ行有の場合は、クラウド帳票発行サービスへの取込時にヘッダ 1 行目を飛ばすことが可能です。
区切り文字	半角カンマ ※値にカンマ「,」や改行を含む場合は値全体をダブルクォーテーション「"」で囲ってください。
エスケープ処理	ダブルクォーテーションで括弧する必要はございません。 ただ、印字する項目の文字数が多く、帳票の PDF 上は改行して表示する場合などは、該当箇所のみダブルクォーテーションで括弧する必要があります。 また「,(半角カンマ)」を含む場合もダブルクォーテーションでくくる必要があります。
データがないセル	空のままでも問題ございません。(0 表記などは不要です。)
ダブルクォーテーションの表示	ダブルクォーテーションを表示させたい場合、「"」を入力したいときは「""」と入力していただく必要があります。
値の前後の空白削除	CSV データの値の前後に半角スペースがあった場合、空白は削除された形でクラウド帳票発行サービスに取り込まれます。 ※全角スペースであれば、空白は削除されずクラウド帳票発行サービスに取り込むことができます。

3. 顧客マスタ項目と CSV の取込設定

はじめに、「顧客項目の設定」と「顧客 CSV の取込フォーマット設定」から、顧客マスタに関する設定を行います。クラウド帳票発行サービスでは、あらかじめ必要な顧客マスタ用の項目を登録する必要があり、その登録した項目にデータを取り込むための、CSV の取込フォーマット設定（並び順などの設定）を行います。

まずは、次項の「3-1 顧客項目の設定」をご確認ください。

本設定では、弊社にてカスタマイズを実施済みのお客様は、初期登録内容が一部異なる可能性があります。

3-1 顧客項目の設定

顧客マスタに設定する項目の追加や管理を行うメニューです。

あらかじめ、初期設定項目として設定されているシステム項目（以下一覧）以外に追加したい項目がある場合は、CSV の取込設定を行う前に、本メニューから追加します。

【顧客項目の初期設定項目】

項目タイプ	データ型※
顧客コード	テキスト
顧客名	テキスト
部署名	テキスト
担当者名	テキスト
敬称	テキスト

項目タイプ	データ型※
郵便番号	郵便番号
住所 1	テキスト
住所 2	テキスト
メールアドレス	メールアドレス
サブメールアドレス 1	メールアドレス
サブメールアドレス 2	メールアドレス
サブメールアドレス 3	メールアドレス
事業者登録番号	事業者登録番号

- 顧客コードは顧客データ登録時の必須項目で、帳票発行時に帳票データと顧客マスタを紐づける際に使用します。ご登録後の値の変更や、重複はできません。
- サブメールアドレスは「サブメールアドレス追加オプション」にご加入されると、最大 10 個まで設定できます。

また、追加項目にはそれぞれデータ型（※）を設定する必要があります。

顧客マスタで利用できるデータ型については以下のとおりです。

データ型	画面表示	条件
テキスト	入力値	文字制限などなく登録可能
複数行テキスト	入力値	文字制限などなく登録可能 ※画面から入力をする際、複数行の入力をする必要がある場合に選択
数値	10,000	数値
通貨	¥10,000	数値または半角¥マークを付与された数値
日付	yyyy/MM/dd	2020 年 1 月 1 日などではなく、「/(半角スラッシュ)」、「-(半角マイナス)」、「.(半角ピリオド)」で区切られている値、または数字 8 桁（20200101） ※「yyyy/MM/dd hh:mm:ss」のように時刻含む 19 文字まで取込可能ですが、取込時に日付情報のみにするため、時刻表示はできません。
郵便番号	入力値	7 文字の数字または半角ハイフンを含んだ 8 文字 ※CSV 上「〒」マークを含んでいた場合、データ取り込み時エラーになります。
電話番号	入力値	半角数字、または半角数字と半角ハイフンで構成されている値

メールアドレス	入力値	メールアドレス形式
事業者登録番号	T1234567890123	T+半角 13 桁の数値、または半角 13 桁の数値 ※項目タイプ：事業者登録番号の項目の場合、半角 13 桁の数値で取り込んだ場合でも、データ取り込み時に先頭に「T」が付与されて登録されます。

3-2 顧客項目の追加方法

初期設定項目として設定されているシステム項目以外の項目を追加する場合、追加方法は以下のとおりです。

①メニュー > 基本設定 > 顧客項目の設定画面に遷移します。

帳票・顧客・表示項目の設定

帳票の設定

帳票の追加・編集、帳票CSVの取込フォーマット設定、帳票レイアウトの設定を行います。

帳票項目の設定

帳票項目の追加・編集を行います。

顧客項目の設定

顧客項目の追加・編集を行います。

顧客CSVの取込フォーマット設定

顧客CSVの取込フォーマット設定を行います。

②初期設定はシステム項目のみのため、画面左下の「項目の追加」をクリックし、項目を追加します。

	9	メールアドレス	メールアドレス	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	100
	10	サブメールアドレス1	サブメールアドレス1	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	11	サブメールアドレス2	サブメールアドレス2	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	12	サブメールアドレス3	サブメールアドレス3	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	13	Web利用ステータス	Web利用	テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	14	ログインID	ログインID	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40
	15	宛先コード	宛先コード	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30
	16	サブメールアドレス4	サブメールアドレス4	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	17	サブメールアドレス5	サブメールアドレス5	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	18	サブメールアドレス6	サブメールアドレス6	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	19	サブメールアドレス7	サブメールアドレス7	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	20	サブメールアドレス8	サブメールアドレス8	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	21	サブメールアドレス9	サブメールアドレス9	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	22	サブメールアドレス10	サブメールアドレス10	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	23	郵送対象	郵送依頼	テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
X	24	追加項目		テキスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800

システム項目
(設定済み項目)

追加項目

項目の追加

変更する

③追加した項目に対して、以下の設定を行います。

操作	No	項目タイプ	表示名	データ型	必須項目	キーワード検索	最大取込文字数 (半角)
	17	追加項目	支店名	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800

設定内容	説明
表示名	クラウド帳票発行サービスの画面上での表示名です。
データ型	データ型を選択します。
必須項目	登録の際に必須項目にする場合はチェックします。 ※必須項目に設定した場合、値が空白だとエラーが発生しデータの登録ができません。
キーワード検索	クラウド帳票発行サービス上でのキーワード検索の対象にする場合はチェックします。
最大取込文字数	登録時の最大文字数を登録します。 ※最大取込文字数を超過するとエラーが発生しデータの登録ができません。

④追加項目の設定が完了したら、『変更する』をクリックします。

※『変更する』をクリックするまで、設定は確定されません。誤って戻るボタンなど押さないようご注意ください。

操作	No	項目タイプ	表示名	データ型	必須項目	キーワード検索	最大取込文字数 (半角)
	9	メールアドレス	メールアドレス	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	100
	10	サブメールアドレス1	サブメールアドレス1	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	11	サブメールアドレス2	サブメールアドレス2	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	12	サブメールアドレス3	サブメールアドレス3	メールアドレス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	100
	13	Web利用ステータス	Web利用	テキスト	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8
	14	メール添付設定	メール添付	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8
	15	ログインID	ログインID	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	40
	16	宛先コード	宛先コード	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30
X	17	追加項目	支店名	テキスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800

項目の追加

変更する

④の設定画面では、弊社にてカスタマイズを実施済みのお客様は、初期登録内容が一部異なる可能性があります。

本メニューでの画面の並び順は、顧客マスタのCSV一括取込時のデータとは関係がありません。

取り込むCSVの並びについては、次頁の「[3-3 顧客 CSV の取込フォーマット設定](#)」で設定してください。

追加した顧客項目は、「顧客 CSV の取込フォーマット設定」で顧客 CSV 項目として選択されている場合は削除することができません。ただし、選択されていない場合は、登録済みのデータが存在したとしても削除することができます。

3-3 顧客 CSV の取込フォーマット設定

顧客マスタへ「CSV一括登録」を行う際に使用する CSV データの並び順などの設定を行います。

貴社の CSV 形式に合わせて並び替えをしてください。

①メニュー > 基本設定 > 顧客 CSV の取込フォーマット設定画面に遷移します。

帳票・顧客・表示項目の設定

帳票の設定
帳票の追加・編集、帳票CSVの取込フォーマット設定、帳票レイアウトの設定を行います。

帳票項目の設定
帳票項目の追加・編集を行います。

顧客項目の設定
顧客項目の追加・編集を行います。

顧客CSVの取込フォーマット設定
顧客CSVの取込フォーマット設定を行います。

②  (鉛筆マーク) をクリックします。

顧客CSVの取込フォーマット設定

新規登録

操作	取込設定ID	取込フォーマット名
 	1	取込設定
 	2	メールアドレス更新用

③顧客 CSV の取込フォーマット設定画面で、項目の追加や並び替えをします

左側の「顧客 CSV 項目」を、上から順番に取り込む CSV の列順となるよう設定ください。

顧客CSVの取込フォーマット設定

取込フォーマット名 (必須)

右側の候補からドラッグ&ドロップで取込項目を選択して、項目の並び順を設定してください。
※ログインIDについて※
初期設定では「顧客コード」を「ログインID」として利用する設定になっています。
「ログインID」を「顧客コード」以外で登録をする場合は「ログインID」を候補からCSV項目に移動してください。
※複数の顧客CSVの取込設定があり、どれか一つにログインIDを含む取込設定が存在する場合は、「顧客コード」を「ログインID」として利用する設定は有効になりません。

顧客CSV項目	候補
1 顧客コード (必須) →	1 Web利用
2 顧客名 →	2 郵送依頼
3 部署名 →	3 ログインID
4 担当者名 →	4 宛先コード
5 敬称 →	
6 郵便番号 →	
7 住所1 →	
8 住所2 →	
9 メールアドレス →	
10 サブメールアドレス1 →	
11 サブメールアドレス2 →	
12 サブメールアドレス3 →	

↑スキップ項目を 追加

変更する

■ 項目の並び替え

CSVの列の並び替えは、並び替える項目を選択し、ドラッグ&ドロップで移動させます。



■ 項目の追加

CSV項目に追加する場合は、「候補」から該当項目を選択し、ドラッグ&ドロップで移動させます。



「←すべて移動」をクリックすると、「候補」の項目を一括で「顧客 CSV 項目」に移動することができます。



「←すべて移動」で移動をした場合、「顧客 CSV 項目」の一番下（最後列）に追加されます。
必要に応じて移動後に並び替えをしてください。

■ CSV 項目からの削除

「顧客 CSV 項目」から削除する場合は、「→」をクリックすると、「候補」に移動します。

「すべてクリア」をクリックすると、すべての項目が「候補」に移動されます。

ここで「顧客 CSV 項目」から「候補」に移動をしても、取り込む CSV の項目から外れるだけなので、その項目自体は削除されません。また、「顧客コード」は顧客マスタ CSV アップロード時の必須項目のため、「顧客 CSV 項目」では必ず「顧客コード」を選択する必要があります。

■ スキップ項目の追加

CSV にクラウド帳票発行サービスには取り込む必要がない列がある場合、その列に「スキップ項目」を設定すると、その列は読み取らず、スキップされます。

(例)「役職列」のみ取り込まない設定にする場合。

顧客コード	顧客名	部署名	役職	担当者名
A000001	A株式会社	経理部	マネージャー	
A000002	B株式会社	経理部		

① ↑スキップ項目を「1個」を選択し『追加』をクリックします。

② スキップする列に追加したスキップ項目を移動させます。

3-4 顧客 CSV の取込フォーマットの複数設定

顧客マスタへ「CSV一括登録」を行う際の CSV フォーマットを複数登録することができます。

■複数顧客 CSV フォーマットを設定する場合の活用例

全項目を取り込む CSV フォーマットとは別に、必要な項目のみ上書き更新する CSV フォーマットを追加設定することができます。以下のような場合に、ご活用いただけます。

- ・宛先コードのみ更新したい場合
- ・メールアドレスのみ更新したい場合

■複数の顧客 CSV フォーマット設定方法

①顧客 CSV の取込フォーマット設定画面で『新規登録』をクリックします。

顧客CSVの取込フォーマット設定

新規登録		
操作	取込設定ID	取込フォーマット名
 	1	取込設定
 	2	メールアドレス更新用

②取込フォーマット名を入力します。

顧客CSVの取込フォーマット設定

取込フォーマット名 (必須)

③顧客 CSV の取込フォーマット設定画面で、項目の追加や並び替えをします。

既に登録済みの顧客情報に上書きで顧客 CSV 取込をする場合、顧客 CSV の取込フォーマットにない項目の値は上書きされず、そのまま残ります。

(例) メールアドレスのみ更新する場合の設定

顧客CSVの取込フォーマット設定

取込フォーマット名 (必須)

右側の候補からドラッグ&ドロップで取込項目を選択して、項目の並び順を設定してください。

※ログインIDについて※

初期設定では「顧客コード」を「ログインID」として利用する設定になっています。

「ログインID」を「顧客コード」以外で登録をする場合は「ログインID」を候補からCSV項目に移動してください。

※複数の顧客CSVの取込設定があり、どれか一つにログインIDを含む取込設定が存在する場合は、「顧客コード」を「ログインID」として利用する設定は有効になりません。

顧客CSV項目	候補
1 顧客コード (必須) →	1 Web利用
2 メールアドレス →	2 郵送依頼
3 サブメールアドレス1 →	3 ログインID
4 サブメールアドレス2 →	4 宛先コード
5 サブメールアドレス3 →	5 顧客名
	6 郵便名

3-5 宛先コード（宛先まとめ機能）について

本機能は、帳票の送付先をまとめたい場合にご利用いただく機能です。

顧客マスタで「宛先コード」項目に送付したい宛先（まとめ先）の顧客コードを入力すると、各顧客コード宛に発行した帳票をまとめて送付できます。

また、郵送代行サービスをご利用される場合も、同日中の依頼であれば、送付したい宛先（まとめ先）に対し、1通の封筒にまとめて帳票を送付することができます。

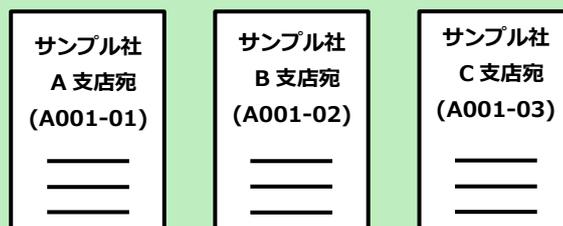
■宛先コード（宛先まとめ機能）の活用例

（例）A支店・B支店・C支店の帳票を本社にまとめたい場合

▼顧客マスタ

顧客コード	宛先コード	会社名	部署名	郵便番号	住所	送付先
A001		サンプル社	本社	111-1111	●●都●●区…	本社
A001-01	A001	サンプル社	A支店	222-2222	△△県△△市…	
A001-02	A001	サンプル社	B支店	333-3333	××県××市…	
A001-03	A001	サンプル社	C支店	444-4444	〇〇県〇〇市…	
A001-04		サンプル社	D支店	555-5555	◆◆県◆◆市…	D支店

サンプル社 本社 (A001) マイページ



宛先コードは、CSVから登録するだけでなく、顧客管理画面から「顧客の新規登録」または「編集」の操作で登録できます。また、宛先コードをご利用されないお客様については、値は空白で問題ありません。

宛先コードを使って帳票の発行先をまとめたい場合、帳票はすべて送付したい宛先（まとめ先）に公開されるため、各顧客それぞれに帳票を公開することができません。帳票公開メールも、送付したい宛先（まとめ先）のみに送信されます。

また、送付したい宛先（まとめ先）のWEB利用ステータス・郵送依頼ステータスが適用されるため、そちらが更新されていれば、各顧客それぞれのWEB利用ステータスは「開設待ち」or「停止」、郵送依頼ステータスは「対象外」でも問題ありません。

帳票ごとに、宛先コードを利用するかしないかを選択することができます。

詳細については、「[10-4 帳票ごとの宛先コード利用のON/OFF設定](#)」をご確認ください。

まとめ元となる各顧客それぞれのWEB利用ステータスを「開設待ち」or「停止」にした場合も、該当の顧客マスタに対してお客様が利用登録機能を利用してメールアドレスの登録を行った場合、WEB利用ステータスは「開設待ち」or「停止」から「利用中」に更新されます。

貴社が想定していないところでお客様自身がステータスを更新してしまう可能性がございますので、クラウド帳票発行サービスでの帳票発行を行わない予定のお客様に対しては、利用登録機能のご案内はお控えいただきますようお願いいたします。

利用登録機能の詳細については、「クラウド帳票発行サービス 管理者向けご利用マニュアル」をご確認ください。

■宛先コードの設定方法（CSVから登録する場合）

顧客CSVの取込フォーマット設定にて「宛先コード」項目を取り込めるよう設定の上、下記値を取込ください。

CSVの値：登録済みの顧客コード、または空白

■宛先コードの設定方法（画面から登録する場合）

画面から宛先コードを設定する方法は以下の通りです。

①メニュー ＞ 基本設定 ＞ 表示項目設定画面に遷移します。

帳票・顧客・表示項目の設定

帳票の設定

帳票の追加・編集、帳票CSVの取込フォーマット設定、帳票レイアウトの設定を行います。

帳票項目の設定

帳票項目の追加・編集を行います。

顧客項目の設定

顧客項目の追加・編集を行います。

顧客CSVの取込フォーマット設定

顧客CSVの取込フォーマット設定を行います。

表示項目設定

帳票データと顧客データの一覧・閲覧画面、マイページに表示する項目を設定します。

②「[顧客]顧客登録・顧客編集」画面の鉛筆のアイコンをクリックします。

スタッフ画面

	画面名
	帳票 帳票データ取込明細
	帳票 帳票データ取込明細(CSV出力)
	帳票 帳票一覧
	帳票 帳票一覧(CSV出力)
	帳票 帳票詳細
	顧客 顧客一覧
	顧客 顧客一覧(CSV出力)
	顧客 顧客詳細
	顧客 顧客登録・顧客編集

顧客管理画面上に宛先コードを表示したい場合、②～③の操作を「[顧客]顧客一覧」「[顧客]顧客一覧 (CSV)」「[顧客]顧客詳細」画面にも行ってください。

- ③「宛先コード」項目を左側のボックスへ、ドラッグ&ドロップで移動させます。
設定完了後『設定する』をクリックします。

表示項目の編集

顧客登録・顧客編集

右側の候補からドラッグ&ドロップで項目を選択してください。

すべてクリア

顧客.顧客コード	X
顧客.ログインID	X
顧客.顧客名	X
顧客.郵便番号	X
顧客.住所1	X
顧客.住所2	X
顧客.部署名	X
顧客.担当者名	X
顧客.敬称	X
顧客.メールアドレス	X
顧客.サブメールアドレス1	X
顧客.サブメールアドレス2	X

表示項目の候補

←すべて表示項目に移動する

顧客.宛先コード

設定する

- ④メニュー > 顧客管理 > 『顧客の新規登録』および『操作』列の鉛筆マークより、宛先コードを登録ください。
必要事項を入力の上、「次へ」ボタンを押してください。

顧客コード (必須)	A001-01
宛先コード	A001
ログインID	「顧客コード」がログインIDとして使用されます。
顧客名 (必須)	サンプル社 (A支店)
郵便番号	<input type="text"/>
住所1	<input type="text"/>
住所2	<input type="text"/>
担当者名	<input type="text"/>
敬称	<input type="text"/>
メールアドレス	<input type="text"/>
FAX番号	<input type="text"/>

次へ
キャンセル

3-6 その他システム項目の設定方法

クラウド帳票発行サービスの顧客項目には初期設定項目以外に、追加できるシステム項目があります。CSVにご準備いただく値に制限がある項目もありますので、以下ご確認をお願いいたします。

■ Web 利用

CSVの値：停止,利用中,開設待ち,0,1,2 ※数字は半角数字 **値なしはエラーとなります。**

顧客マスタのCSV取込と同時にWeb利用ステータスを更新できる項目です。

値が「0」は「停止」扱い、「1」は「利用中」扱い、「2」は「開設待ち」扱いです。

本項目を設定後に顧客マスタのCSV取り込みを実施すると、データ取込完了と同時にWeb利用ステータスの更新がされ、『利用中』または『停止』に更新される場合は、該当のお客様へメールが送信されます。

メールを送信したくない場合は、メニュー > 基本設定 > 通知メール設定画面にて、事前に該当メールの送信設定を「送信しない」に変更してください。

既に『利用中』と『停止』へステータス更新をされている顧客のステータスを『開設待ち』に更新することはできません。そして、『利用中』にステータスを更新する場合はWeb利用の必須項目（顧客名、ログインID、メールアドレス）が空白の場合はエラーとなります。

■ ログイン ID

CSVの値：制限なし

初期設定では顧客コードをログインIDとして利用する設定です。ログインID用の項目を別途準備される場合、この項目を利用します。

■ 郵送対象

CSVの値：対象外,郵送対象,0,1 ※数字は半角数字 **値なしはエラーとなります。**

顧客マスタのCSV取込と同時に、お客様ごとに郵送ステータスを切り替えることができます。

値が「0」は「対象外」扱い、「1」は「郵送対象」扱いです。

「郵送対象」にステータスを更新する場合は郵送代行利用の際の必須項目（顧客名、郵便番号、住所1）が空白の場合はエラーとなります。

4. 帳票の登録と CSV の取込設定

帳票設定の大まかな流れは以下のようになります。

■ 帳票項目の設定

帳票データとして使用する項目の追加をします。

■ 帳票の登録

設定する帳票を登録します。

■ 帳票 CSV の取込フォーマット設定

取り込む CSV の並び順などを設定します。

■ 帳票レイアウト編集

帳票のレイアウトの設定を行います。

4-1 帳票レイアウトの設定にあたり

クラウド帳票発行サービスでの帳票（1 PDF）の作成単位と、CSV データの項目種別については以下のとおりです。

本項目では、「縦型 標準帳票」「横型 標準帳票」をご利用の場合の説明を行います。「縦型 標準領収書」をご利用の場合は、「[9-1 領収書レイアウトの設定にあたり](#)」をご確認ください。

▼帳票作成単位について

CSV 取込設定で帳票 No を設定すると、帳票の作成単位として指定することができます。

この項目はクラウド帳票発行サービス内で重複することができず、既に取り込み済みの帳票 No のデータをアップロードすると、

エラーが発生します。（差替発行の場合は帳票 No をキーとして差替を行います。）

もし、帳票 CSV 上に帳票 No を準備できない場合は、クラウド帳票発行サービス内で顧客コードごとに番号を自動採番することも可能です。

- ・ CSV 取込設定で帳票 No を設定した場合 ⇒取り込んだ帳票 No ごとに 1 PDF を作成します。

対象日付	帳票No	顧客コード	税込金額	明細日付	商品名	数量	明細金額	
2018/2/20	20180220-1	10000	10,800	2018/1/1	商品1	1	10,000	1PDF
2018/2/20	20180220-2	10000	21,600	2018/1/10	商品2	1	3,000	
2018/2/20	20180220-2	10000	21,600	2018/1/20	商品3	1	17,000	

- ・ 顧客コードごとに自動採番する場合 ⇒顧客コードごとに帳票 No を自動採番し 1 PDF を作成します。

対象日付	顧客コード	税込金額	明細日付	商品名	数量	明細金額	
2018/2/20	10000	32,400	2018/1/1	商品1	1	10,000	1PDF
2018/2/20	10000	32,400	2018/1/10	商品2	1	3,000	
2018/2/20	10000	32,400	2018/1/20	商品3	1	17,000	
2018/2/25	20000	24,840	2018/1/5	商品1	2	20,000	1PDF
2018/2/25	20000	24,840	2018/1/20	商品2	1	3,000	

顧客コードごと帳票 No を自動採番した場合のルールは以下のとおりです。

帳票 No のルール：R + 帳票種別 ID(2桁) + 取込 ID(6桁) + _ + 顧客コード(8桁)

※帳票種別 ID と取込 ID と顧客コードについて、桁数に満たない場合は 0 埋めされて表示されます。

▼CSV データの項目種別について

帳票 CSV にご用意いただく帳票項目は、すべて「見出し」と「明細」という項目種別に分かれます。

見出し：帳票 No に対して、全体に関する情報です。(ヘッダや見出し、フッターに表示させたい内容)

明細：帳票 No に対して、複数行存在する情報です。(明細部分に表示させたい内容)

・帳票イメージ

<縦型 標準帳票>

種別	数量	単価	数量	単価	金額
2018/1/05	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/10	3,000	100	1	100	3,000
2018/1/20	17,000	100	1	100	17,000
2018/1/05	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/10	3,000	100	1	100	3,000
2018/1/15	2,000	100	1	100	2,000
2018/1/18	2,000	100	1	100	2,000
2018/1/19	2,000	100	1	100	2,000
2018/1/21	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/21	5,000	100	1	100	5,000
2018/1/22	3,000	100	1	100	3,000
2018/1/22	4,000	100	1	100	4,000
2018/1/23	5,000	100	1	100	5,000
2018/1/23	6,000	100	1	100	6,000
2018/1/24	7,000	100	1	100	7,000
2018/1/25	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/25	1,000	100	1	100	1,000

<横型 標準帳票>

品名	数量	単価	数量	単価	金額
2018/1/05	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/10	3,000	100	1	100	3,000
2018/1/20	17,000	100	1	100	17,000
2018/1/05	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/10	3,000	100	1	100	3,000
2018/1/15	2,000	100	1	100	2,000
2018/1/18	2,000	100	1	100	2,000
2018/1/19	2,000	100	1	100	2,000
2018/1/21	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/21	5,000	100	1	100	5,000
2018/1/22	3,000	100	1	100	3,000
2018/1/22	4,000	100	1	100	4,000
2018/1/23	5,000	100	1	100	5,000
2018/1/23	6,000	100	1	100	6,000
2018/1/24	7,000	100	1	100	7,000
2018/1/25	1,000	100	1	100	1,000
2018/1/25	1,000	100	1	100	1,000

<縦型 標準領収書>

品名	数量	単価	金額
2018/1/05	1,000	100	1,000
2018/1/10	3,000	100	3,000
2018/1/20	17,000	100	17,000
2018/1/05	1,000	100	1,000
2018/1/10	3,000	100	3,000
2018/1/15	2,000	100	2,000
2018/1/18	2,000	100	2,000
2018/1/19	2,000	100	2,000
2018/1/21	1,000	100	1,000
2018/1/21	5,000	100	5,000
2018/1/22	3,000	100	3,000
2018/1/22	4,000	100	4,000
2018/1/23	5,000	100	5,000
2018/1/23	6,000	100	6,000
2018/1/24	7,000	100	7,000
2018/1/25	1,000	100	1,000
2018/1/25	1,000	100	1,000

・データ例

見出し				明細			
対象日付	帳票No	顧客コード	税込金額	明細日付	商品名	数量	明細金額
2018/2/20	201802220-1	10000	32,400	2018/1/1	商品1	1	10,000
2018/2/20	201802220-1	10000	32,400	2018/1/10	商品2	1	3,000
2018/2/20	201802220-1	10000	32,400	2018/1/20	商品3	1	17,000

見出し

ヘッダ・見出し・フッターに表示させる情報です。

帳票 CSV では、PDF 作成単位で、複数行全てに同じ値が入ります。

明細

明細に表示させる情報です。1つの帳票 No に対して複数行データがある場合は行数分のデータが表示されます。

4-2 帳票項目の設定

帳票に利用する項目の追加や管理を行うメニューです。

あらかじめ、初期設定項目として設定されているシステム項目（以下一覧）以外に追加したい項目がある場合は、CSVの取込設定を行う前に、本メニューから追加します。

本設定では、弊社にてカスタマイズを実施済みのお客様は、初期登録内容が一部異なる可能性があります。

帳票データの初期設定項目

項目タイプ	項目種別	データ型
対象日付	見出し	日付
帳票 No	見出し	テキスト
顧客コード	見出し	テキスト
顧客名	見出し	テキスト
税抜金額	見出し	通貨
消費税	見出し	通貨
合計金額	見出し	通貨
支払期日	見出し	日付
明細日付	明細	日付
商品名	明細	テキスト

項目タイプ	項目種別	データ型
数量	明細	数値
明細単価	明細	通貨
明細金額	明細	通貨
備考	見出し	テキスト
税抜金額(8%)	見出し	通貨
税抜金額(10%)	見出し	通貨
消費税(8%)	見出し	通貨
消費税(10%)	見出し	通貨
税率	明細	数値

追加項目にはそれぞれデータ型を設定する必要があります。

帳票データで使用できるデータ型については以下のとおりです。

データ型	画面表示	条件
テキスト	入力値	文字制限などなく登録可能
数値	10,000	数値
通貨	¥10,000	数値または半角¥マークを付与された数値
日付	yyyy/MM/dd	2020年1月1日などではなく、「/(半角スラッシュ)」、「-(半角マイナス)」、「.(半角ピリオド)」で区切られている値、または数字8桁(20200101) ※「yyyy/MM/dd hh:mm:ss」のように時刻含む19文字まで取込可能ですが、 取込時に日付情報のみにするため、時刻表示はできません。
郵便番号	入力値	7文字の数字または半角ハイフンを含んだ8文字
電話番号	入力値	半角数字、または半角数字と半角ハイフンで構成されている値
メールアドレス	入力値	メールアドレス形式
事業者登録番号	T12345678901 23	T+半角13桁の数値、または半角13桁の数値

また、CSVで取り込むデータを結合や計算することも可能です。

詳細については「[5.帳票 CSV 項目の計算・結合処理の設定](#)」をご確認ください。

4-3 帳票項目の追加方法

初期設定項目として設定されているシステム項目以外の項目を追加する場合、追加方法は以下のとおりです。

①メニュー > 基本設定 > 帳票項目の設定画面に遷移します。

帳票・顧客・表示項目の設定

帳票の設定

帳票の追加・編集、帳票CSVの取込フォーマット設定、帳票レイアウトの設定を行います。

帳票項目の設定

帳票項目の追加・編集を行います。

②初期設定はシステム項目のみのため、画面左下の「項目の追加」をクリックし、項目を追加します。

帳票項目の設定

操作	No	項目タイプ	表示名	データ型	見出し・明細	CSV取込必須	キーワード検索	最大取込文字数 (半角)
	1	対象日付	対象日付	日付	見出し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19
	2	帳票No	帳票No	テキスト	見出し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	3	顧客コード	顧客コード	テキスト	見出し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30
	4	顧客名	会社名	テキスト	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800
	5	税抜金額	税抜金額	通貨	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	6	消費税	消費税	通貨	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	7	合計金額	合計金額	通貨	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	8	支払期日	支払期日	日付	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	19
	9	明細日付	明細日付	日付	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	19
	10	商品名	商品名	テキスト	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800
	11	数量	数量	数値	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	12	明細単価	単価	通貨	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	13	明細金額	明細金額	通貨	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	14	備考	備考	テキスト	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800
X	15	追加項目		テキスト	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800

システム項目
(設定済み項目)

追加項目

項目の追加

変更する

②の設定画面では、弊社にてカスタマイズを実施済みのお客様は、初期設定内容が異なる可能性があります。

③追加した項目に対して、以下の設定を行います。

操作	No	項目タイプ	表示名	データ型	見出し・明細	CSV取込必須	キーワード検索	最大取込文字数 (半角)
X	15	追加項目		テキスト	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800

設定内容	説明
表示名	クラウド帳票発行サービスの画面上での表示名です。
データ型	データ型を選択します。

設定内容	説明
見出し・明細	見出し項目か明細項目かを選択します。 ※「縦型 標準領収書」をご利用の場合は、すべて「見出し」項目で設定ください。
CSV 取込必須	登録の際に必須項目にする場合はチェックします。 ※必須項目が空白だとエラーが発生しデータの登録ができません。
キーワード検索	クラウド帳票発行サービス上でのキーワード検索の対象にする場合はチェックします。
最大取込文字数	登録時の最大文字数を登録します。 ※最大取込文字数を超過するとエラーが発生しデータの登録ができません。

④追加項目の設定が完了したら、『変更する』をクリックします。

※『変更する』をクリックするまで、設定は確定されません。誤って戻るボタンなど押さないようご注意ください。

帳票項目の設定

操作	No	項目タイプ	表示名	データ型	見出し・明細	CSV取込必須	キーワード検索	最大取込文字数 (半角)
	1	対象日付	対象日付	日付	見出し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19
	2	帳票No	帳票No	テキスト	見出し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	3	顧客コード	顧客コード	テキスト	見出し	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	30
	4	顧客名	会社名	テキスト	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800
	5	税抜金額	税抜金額	通貨	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	6	消費税	消費税	通貨	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	7	合計金額	合計金額	通貨	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	8	支払期日	支払期日	日付	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	19
	9	明細日付	明細日付	日付	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	19
	10	商品名	商品名	テキスト	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800
	11	数量	数量	数値	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	12	明細単価	単価	通貨	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	13	明細金額	明細金額	通貨	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40
	14	備考	備考	テキスト	見出し	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	800
X	15	追加項目	明細消費税	通貨	明細	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	40

項目の追加

変更する

<< 基本設定に戻る

この画面で設定をする「最大取込文字数 (半角)」は取り込むデータの最大値文字数であり、帳票レイアウト上に表示できる「表示文字数」とは異なります。

また、本メニューでの画面の並び順は、帳票 CSV 一括取込時のデータとは関係がありません。

取り込む CSV の並びについては、「[4-5 帳票 CSV の取込フォーマット設定](#)」で設定してください。

追加した帳票項目は、「帳票 CSV の取込フォーマット設定」で帳票 CSV 項目として選択されている場合と、帳票レイアウト編集で利用されている場合は、削除することができません。ただし、どちらにも選択されていない場合は、登録済みのデータが存在したとしても削除することができます。

帳票の「金額項目」を設定することで、マイページに公開された帳票の検索条件として利用することができます。

なお、「金額項目」として設定できるのはデータ型が「通貨」「数値」の見出し項目となります。

「金額」を検索条件としてマイページに表示する設定については、管理者向けご利用マニュアルをご確認ください。

【クラウド帳票発行サービス】操作マニュアル（管理者向け） 2-6 マイページに関する設定

<https://support.bpo.bk.mufg.jp/manual/administrator.pdf>

項目タイプ「対象日付」は、マイページに公開された帳票の検索条件として利用することができます。
マイページ上に表示される検索条件名は、この画面の「表示名」で設定した名称になります。
「対象日付」を検索条件としてマイページに表示する設定については、クラウド帳票発行サービス操作マニュアル（管理者向け）をご確認ください。

【クラウド帳票発行サービス】操作マニュアル（管理者向け） 2-6 マイページに関する設定
<https://support.bpo.bk.mufg.jp/manual/administrator.pdf>

4-4 帳票の登録

帳票の CSV 取込設定や帳票レイアウトの設定は帳票ごとに行います。それぞれの設定を行う前に、まず帳票の登録を行います。

①メニュー > 基本設定 > 帳票の設定画面に遷移します。

帳票・顧客・表示項目の設定

帳票の設定

帳票の追加・編集、帳票CSVの取込フォーマット設定、帳票レイアウトの設定を行います。

帳票項目の設定

帳票項目の追加・編集を行います。

②帳票の設定画面で『新規登録』をクリックします。

帳票の設定

新規登録

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ 未設定

③帳票名を入力し、『登録する』をクリックすると、帳票の登録が完了します。

帳票の新規登録

帳票名
請求書

帳票テンプレート

縦型 標準帳票
 横型 標準帳票
 縦型 標準領収書

大きな画像で見る

大きな画像で見る

大きな画像で見る

登録する

【ご利用いただける帳票テンプレート】

- **縦型 標準帳票 (A4)** 帳票レイアウトの設定方法は「[6.帳票レイアウト編集](#)」をご確認ください。
- **横型 標準帳票 (A4)** 帳票レイアウトの設定方法は「[6.帳票レイアウト編集](#)」をご確認ください。
- **縦型 標準領収書 (A4)** 帳票レイアウトの設定方法は「[9.領収書レイアウト編集](#)」をご確認ください。

4-5 帳票 CSV の取込フォーマット設定

帳票の登録が完了後、帳票発行に使用する CSV データの並び順などの設定を行います。

貴社の CSV 形式に合わせて並び替えをしてください。CSV 取り込みフォーマット設定を行います。

① CSV 設定の『設定画面へ』をクリックします。

帳票の設定

新規登録

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ 未設定

② 帳票 CSV の取込フォーマット設定画面で、項目の追加や並び替えをします。

左側の「帳票 CSV の項目」は上から順番に、取り込む CSV の列順として設定されています。

右側の「候補」は帳票項目設定で設定済みの項目で、取り込む CSV にはない項目です。

※ 帳票 CSV の取込フォーマット設定の初期設定は、「帳票項目の設定」で追加をした項目は「候補」に表示されます。

帳票 CSV の取込フォーマット設定

帳票種別ID	2
帳票名	請求書

右側の候補からドラッグ&ドロップで取込項目を選択して、項目の並び順を設定してください。

帳票CSV項目

すべてクリア

- 1 見出し項目 : 対象日付 →
- 2 見出し項目 : 帳票No →
- 3 見出し項目 : 顧客コード →
- 4 見出し項目 : 会社名 →
- 5 見出し項目 : 税抜金額 →
- 6 見出し項目 : 消費税 →
- 7 見出し項目 : 合計金額 →
- 8 見出し項目 : 支払期日 →
- 9 明細項目 : 明細日付 →
- 10 明細項目 : 商品名 →
- 11 明細項目 : 数量 →
- 12 明細項目 : 単価 →

↑スキップ項目を 1個 ▼ 追加

候補

←すべて移動

- 1 明細項目 : 単価

CSV行の読み飛ばし条件を指定する

また、特定の条件によって帳票 CSV データ上の行の読み飛ばしを行う場合は、「CSV 行の読み飛ばし条件を指定する」にチェックをつけます。

「CSV 行の読み飛ばし条件を指定する」の設定方法の詳細については「[■ CSV 行の読み飛ばし条件を指定する](#)」をご確認ください。

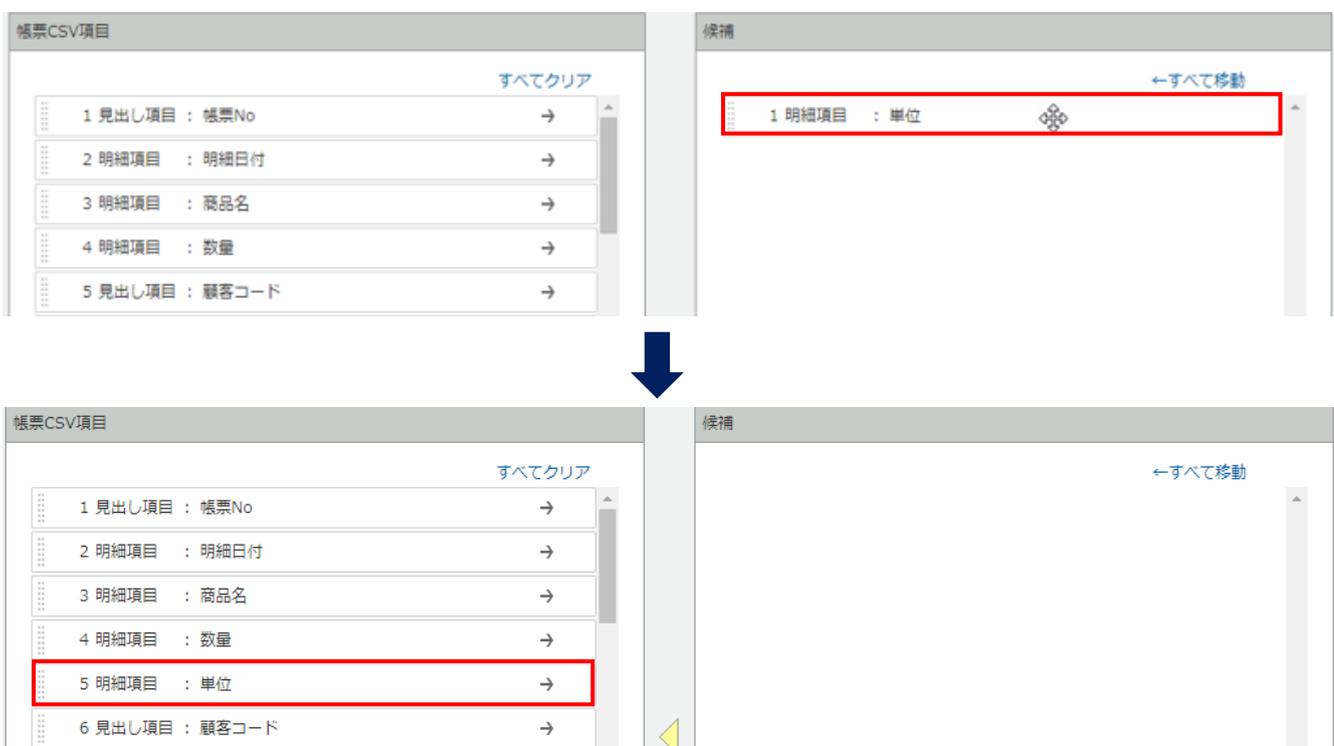
■ 項目の並び替え

CSV の列の並び替えは、並び替える項目を選択し、ドラッグ&ドロップで移動させます。



■ 項目の追加

CSV 項目に追加する場合は、「候補」から該当項目を選択し、ドラッグ&ドロップで移動させます。



「←すべて移動」をクリックすると、「候補」の項目を一括で「帳票 CSV 項目」に移動することができます。



「←すべて移動」で移動をした場合、「帳票 CSV 項目」の一番下（最後列）に追加されます。
必要に応じて移動後に並び替えをしてください。

■ CSV 項目からの削除

「帳票 CSV 項目」から削除する場合は、「→」をクリックすると、「候補」に移動します。



帳票 No を「帳票 CSV 項目」から「候補」へ移動すると、帳票 No を顧客コードごとに自動採番し 1 PDF を作成する設定に切り替わります。

「すべてクリア」をクリックすると、すべての項目が「候補」に移動されます。



ここで「帳票 CSV 項目」から「候補」に移動をしても、取り込む CSV の項目から外れるだけなので、その項目自体は削除されません。また、「帳票 CSV 項目」が 1 つも選択されていない場合、設定を完了することはできません。

■ スキップ項目の追加

CSV にクラウド帳票発行サービスには取り込む必要がない列がある場合、その列に「スキップ項目」を設定すると、その列は読み取らず、スキップされます。

(例)「税抜金額」のみ取り込まない設定にする場合。

対象日付	顧客コード	税抜金額	合計金額	明細日付	商品名	数量	明細金額
2018/7/17	10000	30,000	32,400	2018/7/1	商品 1	1	10,000
2018/7/17	10000	30,000	32,400	2018/7/10	商品 2	1	3,000
2018/7/17	10000	30,000	32,400	2018/7/20	商品 3	1	17,000

① ↑スキップ項目を「1個」を選択し『追加』をクリックします。



② スキップする列に追加したスキップ項目を移動させます。



■ CSV 行の読み飛ばし条件を指定する

CSV データにクラウド帳票発行サービスには取り込む必要がない明細行がある場合、「CSV 行の読み飛ばし条件」を指定すると、条件に該当する明細行を読み飛ばしてデータが取り込まれます。

(例)「商品名」が「合計」のとき、読み飛ばす設定にする場合。

対象日付	顧客コード	税抜金額	合計金額	明細日付	商品名	数量	明細金額
2018/7/30	10000	50,000	54,000	2018/7/1	商品 1	1	10,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000	2018/7/10	商品 1	1	3,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000	2018/7/20	商品 1	1	17,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000		合計	3	30,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000	2018/7/2	商品 2	1	3,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000	2018/7/13	商品 2	1	1,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000	2018/7/21	商品 2	1	2,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000	2018/7/25	商品 2	1	14,000
2018/7/30	10000	50,000	54,000		合計	4	20,000

① 「CSV 行の読み飛ばし条件を指定する」にチェックをつけます。

↑ スキップ項目を

CSV 行の読み飛ばし条件を指定する

帳票 CSV 明細項目: 条件: 値

② 読み飛ばし条件を指定します。

CSV 行の読み飛ばし条件を指定する

帳票 CSV 明細項目: 条件: 値:

「商品名」の値が「合計」と等しかったら読み飛ばすように設定しています。

※値を複数指定する場合は、改行してください。
※「空白」を値として指定する場合は、未入力（空行）としてください。

項目	説明
帳票 CSV 明細項目	CSV の読み飛ばし条件を指定する際の、条件となる明細項目を選択します。
条件	以下の 4 つより表示条件を選択します。 次の値に等しい (=) 次の値に等しくない (≠) 次の値より大きい (>) 次の値より小さい (<)
値	条件となる特定の値を入力します。

データ型「日付」の項目は表示条件に設定することはできません。

また、指定できる帳票 CSV 項目は「明細項目」のみであり、「見出し項目」は指定はできません。

5. 帳票 CSV 項目の計算・結合処理の設定

帳票 CSV 上の値を使用して、クラウド帳票発行サービス内で数値項目の計算や、複数項目を結合処理することができます。

CSV 取込設定ごと（設定している帳票ごと）に設定を行う必要があり、設定できる項目種類は以下のとおりです。

■ 合計項目

任意の数値・通貨項目同士を合計する処理です。本処理では、見出し項目同士または、明細項目同士の処理となり、異なる項目種別の合計はできません。

■ 明細集計項目

帳票ごとに明細項目を合計し、見出し項目に登録する処理です。

■ かけ算・わり算項目

任意の数値・通貨項目同士をかけ算またはわり算する処理です。本処理では、見出し項目同士または、明細項目同士の処理となり、異なる項目種別の合計はできません。

■ 結合項目

任意の項目同士を結合する処理です。本処理では、見出し項目同士または、明細項目同士の処理となり、異なる項目種別の合計はできません。

5-1 計算・結合処理の設定方法（基本操作）

計算・結合項目の設定は、帳票ごとに設定を行います。

「計算式」（処理をする前の項目）は、帳票 CSV の取込設定に設定されている必要があり、「計算結果の登録先」（処理後の項目）は、「帳票 CSV の取込フォーマット設定」で取り込む項目として設定している項目は選択できません。選択できる項目がない場合は「[4-3 帳票項目の追加方法](#)」より項目の追加をしてください。

■ 設定方法

①メニュー > 基本設定 > 帳票の設定画面に遷移します。

帳票・顧客・表示項目の設定

帳票の設定

帳票の追加・編集、帳票CSVの取込フォーマット設定、帳票レイアウトの設定を行います。

②設定する帳票の計算項目の設定の『設定画面へ』をクリックします。

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
...	1	詳細	請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ
...	2	詳細	納品書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ 未設定

③『新規登録』をクリックします。

計算項目の設定

帳票名	請求書
-----	-----

新規登録

④登録する項目について設定をし、『登録する』をクリックします。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input checked="" type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細： <input type="text" value="見出し"/> 項目： <input type="text" value="合計金額"/> <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする 計算後の値を登録する項目を指定してください。
計算式	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="text" value="5列目/税抜金額"/> <input type="button" value="追加"/>

登録する

設定内容	説明
項目タイプ	設定する処理を選択します。
計算結果の登録先	計算/結合処理を実施した結果（処理後の項目）を登録する項目を選択します。
計算式	計算/結合処理をする項目（処理元の項目）を選択します。

	※ 『切り上げ』した場合、0 から離れるように数字が丸められます。 (例) 正の数の場合 : 10.2 を切り上げ→11 負の数の場合 : -10.2 を切り上げ→-11
--	---

計算項目では小数点以下の処理をせずに結果を算出し、帳票レイアウト上に値を表示する際に小数点以下の処理を行うこともできます。

帳票レイアウト上で表示される値の小数点以下を処理をする場合は、「[6-5 可変文字の表示設定について \(日付/数値/通貨\)](#)」より小数点の設定を実施してください。

処理ごとの設定方法の詳細については次頁以降をご確認ください。

5-2 合計項目の設定について

合計項目は任意の数値・通貨項目同士を合計する処理で、以下のような処理が可能です。

(例) 帳票 CSV の明細項目の「税抜 (明細)」と「消費税 (明細)」を合計し、「税込 (明細)」に値を登録する。

対象日付	帳票No	顧客コード	合計金額	明細日付	商品名	数量	税抜 (明細)	消費税 (明細)	税込 (明細)
2018/7/17	20180717-2	10000	21,600	2018/7/10	商品 2	1	3,000	240	3,240
2018/7/17	20180717-2	10000	21,600	2018/7/20	商品 3	1	17,000	1,360	18,360

税抜 + 消費税 = 税込

CSV に「税込 (明細)」がない場合も、クラウド帳票発行サービス・管理者向けご利用マニュアル上に「税込 (明細)」項目を作成した後に、合計項目の設定をすると、帳票 CSV データの取込時に合計処理をし、値の登録をすることができます。

① 項目タイプで「合計項目」を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input checked="" type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
見出し・明細	明細
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	項目 : 税込 (明細) <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする
計算後の値を登録する項目を指定してください。	
計算式	CSV項目 12列目/税抜 (明細) + CSV項目 13列目/消費税 (明細)
登録する	

② 計算処理を実施した結果 (処理後の項目) を登録する項目を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input checked="" type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
見出し・明細	明細
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	項目 : 税込 (明細) <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする
計算後の値を登録する項目を指定してください。	
計算式	CSV項目 12列目/税抜 (明細) + CSV項目 13列目/消費税 (明細)
登録する	

💡 クラウド帳票発行サービス内で合計した値を登録する項目を選択します。

CSVの項目		クラウド帳票発行サービスで作成した項目
税抜	消費税	税込
10,000	800	10,800
20,000	1,600	21,600
30,000	2,400	32,400

「税込」は計算結果の登録先

「計算結果の登録先」として選択できる項目は、「帳票 CSV の取込フォーマット設定」で取り込む項目として設定している項目は選択できません。選択できる項目がない場合は「[4-3 帳票項目の追加方法](#)」より項目の追加を実施してください。

③ 計算処理をする項目（処理元の項目）を選択し、『登録する』をクリックします。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input checked="" type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="明細"/> <input type="button" value="▼"/>
	項目: <input type="text" value="税込 (明細)"/> <input type="button" value="▼"/>
	<input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする
	計算後の値を登録する項目を指定してください。
計算式	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="button" value="▼"/> <input type="text" value="12列目/税抜 (明細)"/> <input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="🗑"/>
	+
	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="button" value="▼"/> <input type="text" value="13列目/消費税 (明細)"/> <input type="button" value="▼"/> <input type="button" value="🗑"/>
	<input type="button" value="追加"/>
	<input type="button" value="登録する"/>

💡 クラウド帳票発行サービス内で合計する項目を選択します。

CSVの項目		クラウド帳票発行サービスで 作成した項目
税抜	消費税	税込
10,000	800	10,800
20,000	1,600	21,600
30,000	2,400	32,400

②の「計算結果の登録先」での選択内容によって、対象項目の候補は異なります。

④登録が完了すると、「計算項目の設定」画面で設定されている内容を確認することができます。

計算項目の設定

項目を登録しました。

帳票名 請求書

新規登録

操作	計算結果の登録先	項目タイプ	計算条件	計算式
<input type="button" value="✏"/> <input type="button" value="🗑"/>	税込 (明細) (明細)	合計項目	対象外	(12列目/税抜 (明細)) + (13列目/消費税 (明細))

5-3 明細集計項目の設定について

明細集計項目は、任意の通貨・数値の明細項目を帳票ごとに合計し、見出し項目に計算結果を登録する処理です。

(例) 帳票 CSV の明細項目にある「税込 (明細)」を集計し、帳票項目の「合計金額」に値を登録する。

対象日付	帳票No	顧客コード	合計金額	明細日付	商品名	数量	税抜 (明細)	税込 (明細)
2018/7/17	20180717-2	10000	21,600	2018/7/10	商品2	1	3,000	3,240
2018/7/17	20180717-2	10000	21,600	2018/7/10	商品3	1	17,000	18,360

CSV 上には「合計金額」が存在しない場合も、明細集計項目の設定をすると、帳票 CSV データの取込時に明細項目の「税込 (明細)」を集計し、帳票項目に値を登録することができます。

①項目タイプで「明細集計項目」を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input checked="" type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算条件	<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="見出し"/> 項目: <input type="text" value="合計金額"/> <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする
計算式	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="text" value="13列目/税込 (明細)"/> <input type="button" value="追加"/>

②計算条件を指定する場合は「指定する」を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input checked="" type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算条件	<input checked="" type="radio"/> 指定する <input type="radio"/> しない
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="明細"/> 項目: <input type="text" value="11列目/消費税フラグ"/> 条件: <input type="text" value="次の値に等しい (=)"/> 値: <input type="text" value="10%"/>
計算式	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="text" value="15列目/税込 (明細)"/> <input type="button" value="追加"/>

💡 計算条件に応じて合計する項目を選択します。

CSVの項目		クラウド帳票発行サービスで 作成した項目
消費フラグ	税込(明細)	合計金額
10%	3,240	3,240
8%	18,360	3,240

「合計金額」には条件に一致する値のみ集計されます。

計算条件の設定方法の詳細については「[5-4 明細集計項目の条件付き設定について](#)」をご確認ください。

③計算処理を実施した結果（処理後の項目）を登録する項目を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input checked="" type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算条件	<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細： <input type="text" value="見出し"/> 項目： <input type="text" value="合計金額"/> <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする 計算後の値を登録する項目を指定してください。
計算式	CSV項目 <input type="text" value="13列目/税込(明細)"/> <input type="button" value="追加"/>

💡 クラウド帳票発行サービス内で合計した値を登録する項目を選択します。

CSVの項目

税込(明細)
3,240
18,360

クラウド帳票発行サービスで作成した項目

合計金額
21,600
21,600

「合計金額」は計算結果の登録先

※明細を集計する機能のため、「計算結果の登録先」では「見出し」項目しか選択できません。

「計算結果の登録先」として選択できる項目は、「帳票 CSV の取込フォーマット設定」で取り込む項目として設定している項目は選択できません。選択できる項目がない場合は「[4-3 帳票項目の追加方法](#)」より項目の追加を実施してください。

④計算処理をする項目（処理元の項目）を選択し、『登録する』をクリックします。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input checked="" type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算条件	<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細： <input type="text" value="見出し"/> 項目： <input type="text" value="合計金額"/> <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする 計算後の値を登録する項目を指定してください。
計算式	CSV項目 <input type="text" value="13列目/税込(明細)"/> <input type="button" value="追加"/>

💡 クラウド帳票発行サービス内で合計する項目を選択します。

CSVの項目

税込(明細)
3,240
18,360

クラウド帳票発行サービスで作成した項目

合計金額
21,600
21,600

⑤登録が完了すると、「計算項目の設定」画面で設定されている内容を確認することができます。

計算項目の設定

項目を登録しました。

帳票名	請求書			
<input type="button" value="新規登録"/>				
操作	計算結果の登録先	項目タイプ	計算条件	計算式
	合計金額（見出し）	明細集計項目	設定なし	(15列目/税込(明細))

5-4 明細集計項目の条件付き設定について

明細集計項目では、任意の条件によって集計内容を変更できるようになっており、以下のような処理が可能です。

- ・ある項目が特定の値の場合、明細項目の集計値を計算する
- ・ある項目が特定の値以外の場合、明細項目の集計値を計算する
- ・ある項目が特定の値より大きいもしくは小さい場合、明細項目の集計値を計算する

(例) 帳票 CSV の「税率」の値ごとに「明細金額」の値を集計し、それぞれ帳票レイアウト上に表示する。

<用意する帳票 CSV 例>

対象日付	顧客コード	顧客名	合計金額	支払期日	明細日付	商品名	数量	単価	明細金額	税率
2019/07/01	10000	A株式会社	130800	2019/07/31	2019/07/01	A	1	10000	10800	0.08
2019/07/01	10000	A株式会社	130800	2019/07/31	2019/07/01	B	1	20000	21600	0.08
2019/07/01	10000	A株式会社	130800	2019/07/31	2019/07/01	C	1	30000	32400	0.08
2019/07/01	10000	A株式会社	130800	2019/07/31	2019/07/01	AA	1	10000	11000	0.10
2019/07/01	10000	A株式会社	130800	2019/07/31	2019/07/01	BB	1	20000	22000	0.10
2019/07/01	10000	A株式会社	130800	2019/07/31	2019/07/01	CC	1	30000	33000	0.10

①

②

<帳票に計算結果を表示したイメージ>

今回御請求額 (税込)				
¥130,800				
合計金額 (税率8%)	合計金額 (税率10%)			
③ ¥64,800	④ ¥66,000			
日付	商品名	単価	数量	明細金額
2019/07/31	A	10,000	1	10,800
2019/07/31	B	20,000	1	21,600
2019/07/31	C	30,000	1	32,400
2019/07/31	AA	10,000	1	11,000
2019/07/31	BB	20,000	1	22,000
2019/07/31	CC	30,000	1	33,000

- ① 「税率」が『0.08』だったら → 見出し部分③「合計金額 (税率 8%)」に、明細金額の集計値を表示する
 ② 「税率」が『0.10』だったら → 見出し部分④「合計金額 (税率 10%)」に、明細金額の集計値を表示する

【設定方法】

「計算条件」で「指定する」を選択し、条件を入力します。

指定した計算条件に一致する値のみ、「計算結果の登録先」へ集計されます。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input checked="" type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算条件	<input checked="" type="radio"/> 指定する <input type="radio"/> しない
	見出し・明細: <input type="text" value="明細"/>
	項目: <input type="text" value="11列目/税率"/>
	条件: <input type="text" value="次の値に等しい (=)"/>
値: <input type="text" value="0.10"/>	
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="見出し"/>
	項目: <input type="text" value="10%消費税合計"/>
	<input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする
計算後の値を登録する項目を指定してください。	
計算式	CSV項目: <input type="text" value="10列目/明細金額"/>
	<input type="button" value="追加"/>

- 次の値に等しい (=) ▼
 次の値に等しい (=)
 次の値に等しくない (≠)
 次の値より大きい (>)
 次の値より小さい (<)

項目	説明
見出し・明細	「明細」が固定で表示されます。 ※明細を集計する機能のため、「計算条件」では「明細」項目しか選択できません。
項目	表示内容を変更する際の、条件となる対象項目を選択します。
条件	以下の4つより表示条件を選択します。 次の値に等しい (=) 次の値に等しくない (≠) 次の値より大きい (>) 次の値より小さい (<)
値	条件となる特定の値を入力します。

5-5 かけ算・わり算項目の設定について

かけ算・わり算項目は任意の数値・通貨項目同士をかけ算・わり算する処理で、以下のような処理が可能です。

■かけ算を行う場合

(例) 帳票 CSV の明細項目「単価」「数量」と消費税(8%) をかけた値を、明細項目「税込(明細)」に登録する。

対象日付	帳票No	顧客コード	合計金額	明細日付	商品名	単価	数量	税抜(明細)	税込(明細)
2018/12/12	20181212-1	10000	31,320	2018/11/5	商品1	3,000	1	3,000	3,240
2018/12/12	20181212-1	10000	31,320	2018/11/15	商品2	10,000	2	20,000	21,600
2018/12/12	20181212-1	10000	31,320	2018/11/20	商品3	1,500	4	6,000	6,480

CSV 上には「税込(明細)」が存在しない場合でも、かけ算項目の設定をすると、帳票 CSV データの取込時に明細項目の「単価」「数量」と固定値(1.08) をかけ算し、明細項目に値を登録することができます。

① 項目タイプで「かけ算・わり算項目」を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input checked="" type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
見出し・明細	見出し・明細: 明細
項目	項目: 税込(明細)
計算結果の登録先	<input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする 計算後の値を登録する項目を指定してください。
計算式	CSV項目 7列目/単価 × CSV項目 8列目/数量 × 固定値 1.08 追加
0でのわり算が発生した場合は帳票CSV取込時にエラーとなります。	
登録する	

② 計算処理を実施した結果(処理後の項目)を登録する項目を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input checked="" type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
見出し・明細	見出し・明細: 明細
項目	項目: 税込(明細)
計算結果の登録先	<input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする 計算後の値を登録する項目を指定してください。
計算式	CSV項目 7列目/単価 × CSV項目 8列目/数量 × 固定値 1.08 追加
0でのわり算が発生した場合は帳票CSV取込時にエラーとなります。	
登録する	

💡 クラウド帳票発行サービス内でかけ算した値を登録する項目を選択します。

CSVの項目		クラウド帳票発行サービスで作成した項目
単価	数量	税込(明細)
3,000	1	3,240
10,000	2	21,600
1,500	4	6,480

「税込(明細)」は計算結果の登録先

③ 計算処理をする項目（処理元の項目）を選択し、『登録する』をクリックします。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input checked="" type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="明細"/>
	項目: <input type="text" value="税込(明細)"/>
<input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする 計算後の値を登録する項目を指定してください。	
計算式	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="text" value="7列目/単価"/> <input type="button" value="x"/> <input type="button" value="削除"/>
	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="text" value="8列目/数量"/> <input type="button" value="x"/> <input type="button" value="削除"/>
	<input type="text" value="固定値"/> <input type="text" value="1.08"/> <input type="button" value="削除"/>
	<input type="button" value="追加"/>
0でのわり算が発生した場合は帳票CSV取込時にエラーとなります。	
<input type="button" value="登録する"/>	

💡 クラウド帳票発行サービス内でかけ算する項目を選択します。

CSVの項目		クラウド帳票発行サービスで作成した項目
単価	税込(明細)	税込(明細)
3,000	1	3,240
10,000	2	21,600
1,500	4	6,480

固定の値をかけ算する場合は「固定値」を選択して、直接値を入力してください。

④登録が完了すると、「計算項目の設定」画面で設定されている内容を確認することができます。

帳票名	請求書			
<input type="button" value="新規登録"/>				
操作	計算結果の登録先	項目タイプ	計算条件	計算式
	税込(明細) (明細)	かけ算・わり算項目	対象外	(7列目/単価) × (8列目/数量) × 1.08

■わり算を行う場合

(例) 帳票 CSV の見出し項目「税込合計金額」から割り戻した値を、見出し項目「消費税」に登録する。

対象日付	帳票No	顧客コード	税込合計金額	消費税	明細日付	商品名	単価	数量
20181212	20181212-1	10000	31,320	2,320	2018/11/5	商品1	3,000	1
20181212	20181212-1	10000	31,320	2,320	2018/11/15	商品2	10,000	2
20181212	20181212-1	10000	31,320	2,320	2018/11/20	商品3	1,500	4

CSV 上には「消費税」が存在しない場合でも、わり算項目の設定をすると、帳票 CSV データ取込時に見出し項目の「税込合計金額」を割り戻して、見出し項目に値を登録することができます。

①項目タイプで「かけ算・わり算項目」を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書 ※計算設定例
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input checked="" type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="見出し"/> 項目: <input type="text" value="消費税"/> <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする
計算式	CSV項目: <input type="text" value="4列目/税込合計金額"/> × <input type="text" value="0.08"/> ÷ <input type="text" value="1.08"/> <input type="button" value="追加"/>
0でのわり算が発生した場合は帳票CSV取込時にエラーとなります。	
<input type="button" value="登録する"/>	

②計算処理を実施した結果（処理後の項目）を登録する項目を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書 ※計算設定例
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input checked="" type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="見出し"/> 項目: <input type="text" value="消費税"/> <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする
計算式	CSV項目: <input type="text" value="4列目/税込合計金額"/> × <input type="text" value="0.08"/> ÷ <input type="text" value="1.08"/> <input type="button" value="追加"/>
0でのわり算が発生した場合は帳票CSV取込時にエラーとなります。	
<input type="button" value="登録する"/>	

③計算処理をする項目（処理元の項目）を選択し、『登録する』をクリックします。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書 ※計算設定例
項目タイプ	<input type="radio"/> 会計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input checked="" type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input type="radio"/> 結合項目
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細: <input type="text" value="見出し"/>
	項目: <input type="text" value="消費税"/>
<input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする	
計算後の値を登録する項目を指定してください。	
計算式	<input type="text" value="CSV項目"/> <input type="text" value="4列目/税込合計金額"/> <input type="button" value="×"/>
	<input type="text" value="固定値"/> <input type="text" value="0.08"/> <input type="button" value="÷"/>
	<input type="text" value="固定値"/> <input type="text" value="1.08"/> <input type="button" value="÷"/>
	<input type="button" value="追加"/>
0でのわり算が発生した場合は帳票CSV取込時にエラーとなります。	
<input type="button" value="登録する"/>	

💡 税率により以下のような計算式を設定します。

8%の場合：税込合計金額×0.08÷1.08
10%の場合：税込合計金額× 0.1÷ 1.1

④登録が完了すると、「計算項目の設定」画面で設定されている内容を確認することができます。

計算項目の設定

項目を登録しました。

帳票名 請求書 ※計算設定例

新規登録

操作	計算結果の登録先	項目タイプ	計算条件	計算式
 	消費税（見出し）	かけ算・わり算項目	対象外	(4列目/税込合計金額) × 0.08 ÷ 1.08

計算項目の設定で設定した計算式は、上から順番に計算されます。

計算式の中で「÷0（値なし）」は登録する事ができません。

帳票 CSV を取込した際に「÷0（値なし）」の計算が発生した場合には、帳票 CSV 取込時にエラーとなります。取込履歴からエラーファイルを確認し、修正をしてください。

5-6 結合項目の設定について

任意の項目同士を結合する処理です。本処理では、見出し項目同士または、明細項目同士の処理となり、異なる項目種別の結合はできません。

(例) 帳票 CSV の「対象日付」と「顧客コード」を結合し、「帳票 No」を登録する。

対象日付	顧客コード	帳票No	合計金額	明細日付	商品名	数量	税抜(明細)	消費税(明細)	税込(明細)
20180717	10000	2018071710000	21,600	2018/7/10	商品1	1	3,000	240	3,240
20180717	10000	2018071710000	21,600	2018/7/20	商品2	1	17,000	1,360	18,360

結合項目では、特定の項目の値同士を結合処理します。間に記号などの特定の文字を挿入することはできません。

① 項目タイプで「結合項目」を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書		
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input checked="" type="radio"/> 結合項目		
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細:	見出し	
	項目:	帳票No	
計算後の値を登録する項目を指定してください。			
計算式	CSV項目	1列目/対象日付	🗑️
	&		
	CSV項目	2列目/顧客コード	🗑️
追加			
登録する			

② 結合処理を実施した結果(処理後の項目)を登録する項目を選択します。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書		
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input checked="" type="radio"/> 結合項目		
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細:	見出し	
	項目:	帳票No	
計算後の値を登録する項目を指定してください。			
計算式	CSV項目	1列目/対象日付	🗑️
	&		
	CSV項目	2列目/顧客コード	🗑️
追加			
登録する			

💡 クラウド帳票発行サービス内で結合した値を登録する項目を選択します。

CSVの項目		クラウド帳票発行サービスで 作成した項目
対象日付	顧客コード	帳票No
20180717	10000	2018071710000

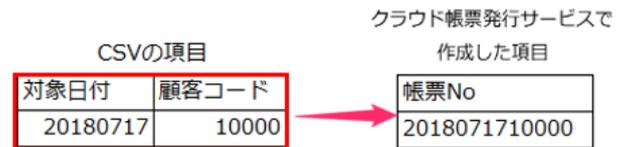
「帳票 No」は、結合結果の登録先

③ 結合処理をする項目（処理元の項目）を選択し、『登録する』をクリックします。

計算項目の新規登録

帳票名	請求書		
項目タイプ	<input type="radio"/> 合計項目 <input type="radio"/> 明細集計項目 <input type="radio"/> かけ算・わり算項目 <input checked="" type="radio"/> 結合項目		
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細:	見出し <input type="text" value="見出し"/>	
	項目:	帳票No <input type="text" value="帳票No"/>	
	計算後の値を登録する項目を指定してください。		
計算式	CSV項目	1列目/対象日付	<input type="text" value="削除"/>
	&		
	CSV項目	2列目/顧客コード	<input type="text" value="削除"/>
	<input type="button" value="追加"/>		
<input type="button" value="登録する"/>			

💡 クラウド帳票発行サービス内で結合する値を選択します。



②の「計算結果の登録先」での選択内容によって、対象項目の候補は異なります。

④登録が完了すると、「計算項目の設定」画面で設定されている内容を確認することができます。

計算項目の設定

項目を登録しました。

帳票名 請求書

新規登録

操作	計算結果の登録先	項目タイプ	計算条件	計算式
<input type="text" value="編集"/> <input type="text" value="削除"/>	帳票No (見出し)	結合項目	対象外	(1列目/対象日付) & (2列目/顧客コード)

5-7 計算項目の編集

登録済みの計算項目を編集する方法は以下のとおりです。

編集画面で設定できる項目は「計算式」のみです。

「計算結果の登録先」(処理後に値を登録する項目)を変更する場合は、新規登録をする必要があります。

①  をクリックし、設定変更画面に遷移します。

計算項目の設定

帳票名	請求書			
新規登録				
操作	計算結果の登録先	項目タイプ	計算条件	計算式
	帳票No (見出し)	結合項目	対象外	(1列目/対象日付) & (2列目/顧客コード)

②変更する「計算式」の編集をし、『変更する』をクリックします。

計算項目の編集

帳票名	請求書		
項目タイプ	結合項目		
計算結果の登録先 ※帳票に表示できる項目	見出し・明細：見出し 項目：帳票No 計算後の値を登録する項目を指定してください。		
計算式	CSV項目 ▼	1列目/対象日付 ▼	
		&	
	CSV項目 ▼	2列目/顧客コード ▼	
	追加		

変更する

5-8 計算項目の削除

登録済みの計算項目を削除する方法は以下のとおりです。

①  をクリックします。

帳票名	請求書			
新規登録				
操作	計算結果の登録先	項目タイプ	計算条件	計算式
 	帳票No (見出し)	結合項目	対象外	(1列目/対象日付) & (2列目/顧客コード)

② 確認画面で『削除』をクリックします。

×

[帳票No (見出し)] を削除します。
よろしいですか?

「計算項目の設定」を削除した場合も、取込済みデータの削除はされず、設定内容のみ削除されます。
また、帳票に表示させている項目も、本画面から設定の削除は可能になりますので、ご注意ください。

6. 帳票レイアウト編集

帳票 CSV の取込フォーマット設定を完了後、帳票レイアウトの設定を行います。

①レイアウト設定の『設定画面へ』をクリックします。

新規登録									
表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定	
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ	未設定

②帳票レイアウト編集画面にて、帳票レイアウトのカスタマイズを行います。

各項目を設定した後は、必ずプレビューでイメージをご確認ください。プレビューで確認を行わない場合、『設定する』ボタンはクリックできません。

プレビュー

帳票名：請求書 用紙サイズ：A4 向き：縦

◆ヘッダー

1ページ目のみ表示
 全ページ表示
 非表示

ヘッダーエリア

発行日 {帳票 (見出し) .対象日付}

請求No. {帳票 (見出し) .帳票No}

【帳票レイアウトの自動保存について】

帳票レイアウト編集中に、誤ってページを閉じてしまったなど、意図せず設定内容を保存できなかった場合、編集途中の帳票レイアウト設定は自動的に保存されるようになっています。

次回帳票レイアウト編集画面を開くと、前回入力途中のデータが最初から反映された状態となっており、プレビューでイメージを確認したあと『設定する』ボタンをクリックすることで自動保存されたデータを確定させます。

また、「設定途中の内容をクリアして再設定する」をクリックすると、画面が更新されて、直近の確定保存された状態から再度設定を進めることができます。

帳票レイアウト編集

前回の設定時に自動保存された内容を表示しています。 [設定途中の内容をクリアして再設定する]

プレビュー

帳票名：請求書 用紙サイズ：A4 向き：縦

※帳票レイアウト編集中に『キャンセル』をクリックしたあと確認のダイアログ画面で『OK』をクリックすると、編集中のデータを破棄して「帳票の設定」画面に戻ります。

{ページ}/{総ページ数}

フォント 明朝体 ゴシック体
 ページ番号 表示する 表示しない

設定する
キャンセル
プレビュー

詳しい帳票レイアウトの設定方法については次頁以降をご確認ください。

次頁以降では、帳票テンプレート「縦型 標準帳票」「横型 標準帳票」の設定方法を記載します。「縦型 標準領収書」のレイアウトを設定する場合は、「[9-1 領収書レイアウトの設定にあたり](#)」以降をご確認ください。

6-1 エリアについて

帳票は複数のエリアで構成されています。それぞれのエリアについては以下のとおりです。

▼縦型 標準帳票の場合

◆ヘッダー
 1ページ目のみ表示 全ページ表示 非表示

◆見出し
 1ページ目のみ表示 非表示

ヘッダーエリア
 発行日 (帳票) 印刷日 (帳票)
 請求No. (帳票) **ヘッダーエリア**

見出しエリア1
 〒 (顧客 郵便番号)
 (顧客 住所1)
 (顧客 住所2)
 (顧客 顧客名)
 (顧客 部署名)
 (顧客 担当名) (顧客 敬称)

タイトル
請求書 **タイトル**

見出しエリア2
 株式会社〇〇〇〇
 登録番号: T1234567890123
 〒999-9999
 東京都〇〇区1-2-3
 〇〇ビル〇〇号
 TEL: 99-9999-9999(代表) FAX: 99-9999-9999
 振込先 : 〇〇銀行 〇〇支店
 普通 99999999
 口座名義: 社〇〇〇〇〇〇〇
 支払期日: (帳票 (見出し) 支払期日)

見出し項目
 項目の横編集合計: 405ピクセル (最大: 567ピクセル)
 +

税抜計(10%)	消費税(10%)	税抜計(8%)	消費税(8%)	合計金額
{帳票 (見出し) 税抜 金額(10%)}	{帳票 (見出し) 消費 税(10%)}	{帳票 (見出し) 税抜 金額(8%)}	{帳票 (見出し) 消費 税(8%)}	{帳票 (見出し) 合計 金額}

 項目の横編集合計: 0ピクセル (最大: 567ピクセル)
 +

◆明細 項目の横編集合計: 567ピクセル (最大: 567ピクセル) 1行あたりの高さ設定: 22ピクセル
 グループ設定の利用: する しない

日付	品名	単価	数量	税率	明細金額
{帳票 (明細) 明細日付}	{帳票 (明細) 品名}	{帳票 (明細) 明細単価}	{帳票 (明細) 数量}	{帳票 (明細) 税率}%	{帳票 (明細) 明細金額}
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:

明細項目

◆フッター
 最終ページのみ表示 全ページ表示 非表示

フッターエリア
 {帳票 (見出し) 備考}

フッターエリア

見出し項目を表示させるエリア ヘッダーは「1ページ目のみ表示」or「全ページ表示」or「非表示」、フッターは「最終ページのみ表示」or「全ページ表示」or「非表示」、見出しは「1ページ目のみ表示」or「非表示」で、選択することができます。

明細項目を表示させるエリア 明細項目を表示させるエリアです。CSVデータの明細行分、繰り返して表示されます。

エリア種別	エリア名称	説明
ヘッダ	ヘッダーエリア	「発行日」や「帳票 No」などの表示をすることができます。
見出し	タイトル	帳票のタイトルを表示することができます。
	見出しエリア 1~2	送付先の情報や、発行元の情報などを表示することができます。 ※『横型 標準帳票』を選択した場合、見出しエリアの個数が変わります。 詳細は次頁をご確認ください。
	見出し項目	帳票の合計金額情報などを表示することができます。
明細	明細項目	明細部分に表示させる項目の設定を行います。
フッター	フッターエリア	「備考」などの情報を表示することができます。

▼横型 標準帳票の場合

帳票テンプレート『横型 標準帳票』を選択した場合、「見出しエリア 1~3」があります。

◆ヘッダー

1ページ目のみ表示 全ページ表示 非表示

◆見出し

1ページ目のみ表示 非表示

ヘッダーエリア

発行日 {帳票 (見出し) . 発行日付}
 請求No. {帳票 (見出し) . 請求No.}

ヘッダーエリア

タイトル

請求書

タイトル

見出しエリア1

{顧客.郵便番号}
{顧客.住所1}
{顧客.住所2}
{顧客.顧客名}
{顧客.部署名}
{顧客.担当名} {顧客.敬称}

見出しエリア 1

見出しエリア2

{未設定}

見出しエリア 2

見出しエリア3

株式会社○○○○
登録番号: T1234567890
〒999-9999
東京都○○区1-2-3
○○ビル ○階
TEL: 99-9999-9999(代表) FAX: 99-9999-9999

振込先 : ○○銀行 ○○支店
普通 9999999

口座名義: ○○○○○○
支払期日: {帳票 (見出し) . 支払期日}

見出しエリア 3

項目の横幅合計: 405ピクセル (最大: 814ピクセル)

+	+	+	+	+
税抜計(10%)	消費税(10%)	税抜計(8%)	消費税(8%)	合計金額
{帳票 (見出し) . 税抜 金額(10%)}	{帳票 (見出し) . 消費 税(10%)}	{帳票 (見出し) . 税抜 金額(8%)}	{帳票 (見出し) . 消費 税(8%)}	{帳票 (見出し) . 合計 金額}

項目の横幅合計: 0ピクセル (最大: 814ピクセル)

見出し項目

◆明細 項目の横幅合計: 814ピクセル (最大: 814ピクセル) 1行あたりの高さ設定: 22ピクセル

グループ設定の利用: する しない

日付	商品名	単価	数量	税率	明細金額	備考
{帳票 (明細) . 明細日 付}	{帳票 (明細) . 商品名}	{帳票 (明細) . 明細単 価}	{帳票 (明細) . 数量}	{帳票 (明細) . 税率}%	{帳票 (明細) . 明細金 額}	{未設定}
:	:	:	:	:	:	:
明細項目	:	:	:	:	:	:

◆フッター

最終ページのみ表示 全ページ表示 非表示

フッターエリア

{帳票 (見出し) . 備考}

フッターエリア

{ページ}/{総ページ数}

50

マニュアル内の文字は「Ctrl」キー+「F」キーで検索できます。

6-2 レイアウトの設定について

レイアウト設定の基本操作は以下のとおりです。

・表示設定 対象エリア：ヘッダー、見出し、フッター

1 PDF が複数ページに渡る場合、ヘッダー、見出し、フッターそれぞれのエリアをどのように表示させるかを選択することができます。

The screenshot shows the layout customization interface with the following settings highlighted in callouts:

- Header:**
 - 1ページ目のみ表示
 - 全ページ表示
 - 非表示
- Title:**
 - 1ページ目のみ表示
 - 非表示
- Footer:**
 - 最終ページのみ表示
 - 全ページ表示
 - 非表示
- Font:**
 - 明朝体
 - ゴシック体
- Page Number:**
 - 表示する
 - 表示しない

・フォント設定

帳票で使用するフォントを「IPA 明朝」または「IPA ゴシック」から選択できます。

・ページ番号設定

ページ番号の表示有無の選択をします。表示する場合の表記は「ページ/総ページ」表記で、帳票の右下に固定表示されます。

・各エリアの表示設定

表示設定はエリアごとに実施をします。基本の操作方法は共通ですが、色分けごとに多少操作が異なりますので、以下カテゴリごとの操作方法をご確認ください。

▼設定カテゴリについて

◆ヘッダー
 1ページ目のみ表示 全ページ表示 非表示

◆見出し
 1ページ目のみ表示 非表示

見出しエリア1
 〒 (顧客,郵便番号)
 (顧客,住所1)
 (顧客,住所2)
 (顧客,顧客名)
 (顧客,顧客名)
 (顧客,担当者名) (顧客,敬称)

見出しエリア2
 〒9999-9999
 東京都〇〇区1-2-3
 〇〇ビル 〇階
 株式会社〇〇〇〇
 TEL: 99-9999-9999(代表) FAX: 99-9999-9999

振込先 : 〇〇銀行 〇〇支店
 普通 9999999
 口座名義: 〇〇〇〇〇〇〇〇
 支払期日: (振票 (見出し) ,支払期日)

項目の横幅合計: 243ピクセル (最大: 567ピクセル)

金額	消費税	合計	見出し項目名
{振票 (見出し) ,税抜 金額}	{振票 (見出し) ,消費 税}	{振票 (見出し) ,合計 金額}	見出しデータ

項目の横幅合計: 0ピクセル (最大: 567ピクセル)

◆明細 項目の横幅合計: 567ピクセル (最大: 567ピクセル) 1行あたりの高さ設定: 22ピクセル

グループ設定の利用: する しない

日付	商品名	単価	数量	明細金額	明細項目名
{振票 (明細) ,明細日付}	{振票 (明細) ,商品名}	{振票 (明細) ,単価}	{振票 (明細) ,数量}	{振票 (明細) ,明細金額}	明細データ

◆フッター
 最終ページのみ表示 全ページ表示 非表示

フッターエリア
 {振票 (見出し) ,備考}

カテゴリ	対象エリア
エリア1	タイトル
エリア2	ヘッダーエリア、見出しエリア1、見出しエリア2、 見出しエリア3（「横型 標準帳票」のみ）、フッターエリア
エリア3	見出し項目名、明細項目名
エリア4	見出しデータ
エリア5	明細データ

※各エリアで共通している「表示内容」については、後述の「[6-3 表示内容の設定について](#)」をご確認ください。

※エリアごとの設定に関する注意事項については、後述の「[7.見出しエリアでの設定ポイント](#)」

「[8.明細エリアでの設定ポイント](#)」をご確認ください。

▼エリア1 対象エリア：タイトル

 (鉛筆マーク) をクリックし、設定画面に遷移します。

◆見出し

1ページ目のみ表示 非表示

タイトル

請求書  

見出しエリア1

{顧客.郵便番号}
{顧客.住所1}
{顧客.住所2}
{顧客.顧客名}
{顧客.部署名}

見出しエリア2

(未設定)

タイトルの設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	表示順	追加/削除
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別:	帳票 (見出し) ▼	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
	対象項目:	対象日付 ▼		
	表示形式:	2018年01月 ▼		
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		分請求明細書	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

横幅 ピクセル [初期値に戻す](#)

フォントサイズ

項目	設定内容
条件付き表示	特定の条件によって表示内容を変更することができます。 詳細は「 7-4 見出し項目の条件付き表示設定 」をご確認ください。
タイトル	表示させる内容を設定します。固定表示の場合は「固定」を選択し、テキストボックスに入力してください。「顧客項目」や「帳票項目」を表示する場合は「可変」を選択します。 その場合の設定方法については、「 6-3 表示内容の設定について 」をご確認ください。
横幅	横幅（画像の灰色部分）の設定をします。 設定した横幅より表示文字が長くなると、すべての文字が表示できない可能性があります。 あらかじめ、横幅を長めに設定するようにしてください。
フォントサイズ	フォントサイズの設定をします。
横位置	「左揃え」「中央」「右揃え」から選択ができます。
縦位置	「上揃え」「中央」「下揃え」から選択ができます。

▼エリア2 対象エリア：ヘッダーエリア、見出しエリア1、見出しエリア2、見出しエリア3、フッターエリア

 (鉛筆マーク) をクリックし、設定画面に遷移します。

◆見出し

1ページ目のみ表示 非表示

見出しエリア1

〒{顧客.郵便番号}
{顧客.住所1}
{顧客.住所2}
{顧客.顧客名}
{顧客.部署名}
{顧客.担当者名} {顧客.敬称}

見出しエリア2

株式会社〇〇〇〇
登録番号：T1234567890123

〒999-9999
東京都〇〇区1-2-3
〇〇ビル〇階

タイトル 請求書

ロゴ画像 社印画像

見出しエリア1の設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	〒	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="▲"/> <input type="button" value="▼"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

フォントサイズ

行間

横幅の表示文字数を
を超えた場合 折り返して全体を表示 切り捨て

横位置 左揃え 中央 右揃え

縦位置 上揃え 中央 下揃え

高さ (ピクセル) [初期値に戻す](#)

余白 (ピクセル) 上 下 左 右

項目	設定内容
条件付き表示	特定の条件によって表示内容を変更することができます。 詳細は「 7-4 見出し項目の条件付き表示設定 」をご確認ください。
表示内容	表示させる内容を設定します。
フォントサイズ	フォントサイズの設定をします。 ※フォントサイズは固定です。表示領域に合わせて、サイズを縮小する機能はありません。
行間	複数行表示をする場合の行間を設定します。
横幅の表示文字数を を超えた場合	表示領域を超えた文字数の値がある場合、折り返して複数行表示をさせるか、1行に収まる値のみ表示するかを選択します。「切り捨て」を選択すると、表示領域を超えた文字は表示できません。
横位置	「左揃え」「中央」「右揃え」から選択ができます。
縦位置	「上揃え」「中央」「下揃え」から選択ができます。
高さ (ピクセル)	該当エリア内の高さを設定します。
余白 (ピクセル)	該当エリア内の余白を設定します。

▼エリア3 対象エリア：見出し項目名、明細項目名

・項目の追加方法

 をクリックすると、列を追加することができます。列を追加した場合、画面に表示されている「横幅合計」が最大値（「縦型 標準帳票」、「縦型 標準領収書」：567 ピクセル、「横型 標準帳票」：814 ピクセル）を超えないよう、各項目の横幅調整を行う必要があります。

◆明細 項目の横幅合計：567ピクセル（最大：567ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 

グループ設定の利用： する しない

日付	商品名	単価	数量	明細金額
{帳票（明細）.明細日付}	{帳票（明細）.商品名}	{帳票（明細）.単価}	{帳票（明細）.数量}	{帳票（明細）.明細金額}

追加した項目を削除する場合は （ゴミ箱マーク）をクリックしてください。

見出し項目は左のボタンからも項目の追加を行うことが可能です。

左側から追加した場合、既に追加済みの項目の右隣から列が挿入されます。

項目の横幅合計：486ピクセル（最大：567ピクセル）

金額	消費税	合計	(未設定)	追加項目	(未設定)	(未設定)
{帳票（見出し）.税抜金額}	{帳票（見出し）.消費税}	{帳票（見出し）.合計金額}	(未設定)	追加項目	(未設定)	{帳票（見出し）.税抜金額}

・各項目の詳細設定

（鉛筆マーク）をクリックし、設定画面に遷移します。

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		合計	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

横幅 ピクセル
全項目の横幅の合計が814ピクセル以内になるように調整してください。
実際のレイアウトはプレビューで確認することができます。

フォントサイズ

横位置 左揃え 中央 右揃え

縦位置 上揃え 中央 下揃え

項目	設定内容
条件付き表示	特定の条件によって表示内容を変更することができます。 詳細は「 7-4 見出し項目の条件付き表示設定 」をご確認ください。
表示内容	表示させる内容を設定します。
横幅	項目の横幅を設定します。全項目の横幅の合計を 567 ピクセル以内に設定してください。
フォントサイズ	フォントサイズの設定をします。
横位置	「左揃え」「中央」「右揃え」から選択ができます。
縦位置	「上揃え」「中央」「下揃え」から選択ができます。

▼エリア4 対象エリア：見出しデータ

 (鉛筆マーク) をクリックし、設定画面に遷移します。

項目の横幅合計：405ピクセル（最大：567ピクセル）

税抜計(10%)	消費税(10%)	税抜計(8%)	消費税(8%)
{帳票(見出し).税抜金額(10%)}	{帳票(見出し).消費税(10%)}	{帳票(見出し).税抜金額(8%)}	{帳票(見出し).消費税(8%)}

見出しデータの設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

フォントサイズ

横位置 左揃え 中央 右揃え

縦位置 上揃え 中央 下揃え

OK

キャンセル

項目	設定内容
条件付き表示	特定の条件によって表示内容を変更することができます。 詳細は「 7-4 見出し項目の条件付き表示設定 」をご確認ください。
表示内容	表示させる内容を設定します。
フォントサイズ	フォントサイズの設定をします。 ※フォントサイズは固定です。表示領域に合わせて、サイズを縮小する機能はありません。
横位置	「左揃え」「中央」「右揃え」から選択ができます。
縦位置	「上揃え」「中央」「下揃え」から選択ができます。

▼エリア 5 対象エリア：明細データ

 (鉛筆マーク) をクリックし、設定画面に遷移します。

◆明細 項目の横幅合計：567ピクセル(最大：567ピクセル) 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 

グループ設定の利用：○する ●しない

日付	商品名	単価	数量	税率	明細金額
{帳票(明細).明細日付}	{帳票(明細).商品名}	{帳票(明細).明細単価}	{帳票(明細).数量}	{帳票(明細).税率}%	{帳票(明細).明細金額}

明細データの設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

フォントサイズ

横位置 左揃え 中央 右揃え

縦位置 上揃え 中央 下揃え

項目	設定内容
グループ設定の利用	特定の項目でグループの設定をすることができます。 詳細は「 8-3 明細項目のグループ設定 」をご確認ください。
条件付き表示	特定の条件によって表示内容を変更することができます。 詳細は「 8-2 明細項目の条件付き表示設定 」をご確認ください。
表示内容	表示させる内容を設定します。
フォントサイズ	フォントサイズの設定をします。 ※フォントサイズは固定です。表示領域に合わせて、サイズを縮小する機能はありません。
横位置	「左揃え」「中央」「右揃え」から選択ができます。
縦位置	「上揃え」「中央」「下揃え」から選択ができます。

6-3 表示内容の設定について

各項目の設定画面にある「表示内容」では、帳票に表示する内容を設定します。

表示は「固定文字」と「可変文字」を選択し設定を行います。

■ 固定文字

帳票に常に固定で文字を表示させることができます。発行元の会社情報などの表示に使用します。

■ 可変文字

顧客項目や帳票項目を参照し表示させることができます。作成する PDF ごとに表示する内容を変える部分に使用します。

・ 表示内容の設定項目について

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
	<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	〒	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: <input type="text" value="顧客"/> ▼ 対象項目: <input type="text" value="郵便番号"/> ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

項目	説明
文字	「固定」または「可変」から選択します。
内容	「固定」の場合は、テキストボックスに表示させたい内容を入力します。 「可変」の場合は、どの情報を参照させるか、また、その表記などを設定します。 ※可変文字の設定方法については次頁をご確認ください。
改行	改行にチェックを入力すると、設定中の行の後ろで改行されます。 2つの項目を続けて表示させる場合はチェックを入れずに使用します。
表示順	表示順の変更をします。
追加/削除	表示内容の追加/削除を行います。追加をすると設定画面の行が増えます。

6-4 可変文字の参照項目の設定について

可変文字では、顧客項目や帳票項目のどの項目を表示させるか、また、数値や日付などを表示する場合は表記を設定する必要があります。

■ 項目種別について

項目種別では、顧客項目か帳票項目のどちらの項目から情報を参照するかを選択します。

帳票項目は、「見出し項目を表示させるエリア」の設定では「帳票（見出し）」が選択でき、

「明細項目を表示させるエリア」の設定では「帳票（明細）」が選択できます。

※「縦型 標準帳票」「横型 標準帳票」のエリアについては「[6-1 エリアについて](#)」、

「縦型 標準領収書」のエリアについては「[9-2 領収書レイアウトのエリアについて](#)」をご確認ください。

文字	内容	改行	表示順	追加/削除	内容
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別： -- 対象項目： --	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>	-- -- 帳票（見出し） 顧客

■ 対象項目について

対象項目では、項目種別で選択した内容に対して、その項目が候補にあがります。

項目種別で「顧客」を選択すると、顧客項目が選択できるようになり、「帳票（見出し）または（明細）」を選択すると、該当の帳票項目を選択することができます。

文字	内容	改行	表示順	追加/削除	内容
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別： -- 対象項目： --	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>	帳票（見出し） -- -- 対象日付 帳票No 顧客コード 会社名 税抜金額 消費税 合計金額 支払期日 備考

6-5 可変文字の表示設定について（日付/数値/通貨）

データ型が「日付」「数値」「通貨」に設定されている項目については、クラウド帳票発行サービスで作成する帳票での表示形式を設定することができます。

■ 通貨・数値の設定

内容の下段でデータ型が「通貨」または「数値」に設定されている項目を選択すると、小数点の表示の有無など、表示方法を選択できます。

・小数点の設定

帳票で小数を含んだ値を処理する場合は、表記の設定を行う必要があります。

帳票の表示では、CSV で取り込みをしたデータの桁数は関係なく、ここで指定した桁数が表示されます。

小数以下の処理を行う必要がある場合は「小数点以下の処理をする」にチェックをいれます。

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変 	項目種別： 帳票（見出し） ▼ 対象項目： 合計金額 ▼ <input type="checkbox"/> 通貨記号あり <input checked="" type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする 小数点以下の桁数 1 ▼ <input type="checkbox"/> 表示桁数までゼロ埋めする 小数点第2位を 切り捨て ▼	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

項目	説明
小数点以下の桁数	小数点以下第何位まで表示する必要があるか、桁数を指定します。
表示桁数までゼロ埋めをする	指定をした小数以下の桁数より少ないデータを表示させる場合、指定の桁数まで 0 を表示させるかを選択します。 （例）小数以下を「2」に設定をし、「100.1」という値を取り込んだ場合。 ⇒ゼロ埋めをする場合：表記「100.10」（小数第2位に0を表示） ゼロ埋めをしない場合：表記「100.1」（取込データそのままの表示）
指定桁数以上の桁数の処理 （切り捨て/切り上げ/四捨五入）	指定した桁数以上のデータを取り込んだ場合の処理を選択します。 ※ 『切り捨て』した場合、0 に近づくように数字が丸められます。 （例）正の数の場合：10.2 を切り捨て→10 負の数の場合：-10.2 を切り捨て→-10 ※ 『切り上げ』した場合、0 から離れるように数字が丸められます。 （例）正の数の場合：10.2 を切り上げ→11 負の数の場合：-10.2 を切り上げ→-11

取り込む値に小数が含まれる場合は、必ず小数の設定をご確認ください。

整数表示の場合も取込データに小数を含む場合は、「0」を選択し、「指定桁数以上の処理」の設定を行う必要があります。(設定を行わない場合、自動で切り捨て処理されます)

・通貨記号の設定（データ型が「通貨」の場合のみ）

データ型が通貨の場合のみ、通貨記号の表示の設定ができます。

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変 	項目種別： 帳票（見出し） ▼ 対象項目： 合計金額 ▼ <input checked="" type="checkbox"/> 通貨記号あり 通貨記号 ¥ <input checked="" type="radio"/> 前に表示 <input type="radio"/> 後ろに表示 <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

通貨記号の表示をする場合は、「通貨記号あり」にチェックをし、表示させる記号を入力し、その記号を値の「前に表示」させるか「後ろに表示」させるかを選択します。

■日付の表示設定

内容の下段で、データ型が「日付」に設定されている項目を選択すると、表示形式で日付の表示方法を選択できます。

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変 	項目種別： 帳票（見出し） ▼ 対象項目： 対象日付 ▼ <input checked="" type="checkbox"/> 表示形式： 2018/01/02 ▼	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

2018/01/02 ▼
2018/01/02
2018/01
01/02
2018年01月02日
2018年01月
平成30年01月02日
平成30年01月
01月02日
2018
30
01
02
1
2

6-6 画像の表示

帳票にロゴ画像や印影を設定する場合は「見出しエリア2」に設定することができます。

タイトル
請求書

見出しエリア2
株式会社〇〇〇〇
登録番号：T1234567890123
〒999-9999
東京都〇〇区1-2-3
〇〇ビル〇階
TEL：99-9999-9999(代表) FAX：99-9999-9999
振込先：〇〇銀行 〇〇支店
普通 9999999
口座名義：〇〇〇〇〇〇〇〇
支払期日：{帳票(見出し).支払期日}

ロゴ画像 社印画像

見出しエリア2の設定内の「ロゴ画像」「社印画像」に表示させたい画像を設定し、『OK』をクリックします。

「帳票レイアウト編集」画面上では、設定した画像がサムネイル表示されます。

見出しエリア2の設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input type="radio"/> 固定	項目種別:	帳票(見出し)	<input type="checkbox"/>	+	-
<input checked="" type="radio"/> 可変	対象項目:	支払期日			
	表示形式:	2018/01/02			

フォントサイズ 10

行間 0.3

横幅の表示文字数を超えた場合 折り返して全体を表示 切り捨て

横位置 左揃え 中央 右揃え

縦位置 上揃え 中央 下揃え

高さ(ピクセル) 100 初期値に戻す

余白(ピクセル) 上 0 下 0 左 0 右 0

ロゴ画像 ここに画像ファイルをドラッグ&ドロップ、またはクリックして追加する
対応ファイル：.jpeg、.jpg、.gif、.png

社印画像 ここに画像ファイルをドラッグ&ドロップ、またはクリックして追加する
対応ファイル：.jpeg、.jpg、.gif、.png

帳票レイアウト編集画面で設定できるロゴ画像、社印画像の対応ファイル条件は以下のとおりです。
対応ファイル：.gif、.jpeg、.jpg、.png 最大容量：2MB

画像の移動やサイズ調整は、「帳票レイアウト編集」画面上で行えます。

・画像の移動

・画像のサイズ調整



画像のサイズ調整を行う場合、縦横どちらか一方のみ調整をしても画像のサイズは変わりません。

縦横両方の長さを調整すると、縦横比は維持したまま、画像の長辺を枠に合わせ、画像全体が枠内に収まるようにサイズが調整されます。

ロゴを表示内容の上に表示したい場合は余白を調整し、表示スペースを確保してください。

余白 (ピクセル) 上 下 左 右

ロゴ画像 

設定画面上では、表示内容と画像が重なっているように見えますが、実際は余白が存在します。プレビューを見ていただくと正しい表示がご確認できます。

・設定画面

見出しエリア2

 ○○○
〒1234567890123

 社印画像

東京都○○区1-2-3
○○ビル ○階
TEL : 99-9999-9999(代表) FAX : 99-9999-9999

振込先 : ○○銀行 ○○支店
普通 9999999

口座名義 : 〇〇〇〇〇〇〇〇
支払期日 : {帳票 (見出し) .支払期日}

・帳票での表示


株式会社○○○○
登録番号 : T1234567890123

〒999-9999
東京都○○区1-2-3
○○ビル ○階
TEL : 99-9999-9999(代表) FAX : 99-9999-9999

7. 見出しエリアの設定ポイント

本章では「縦型 標準帳票」「横型 標準帳票」の見出しエリアの設定ポイントを記載します。対象エリアの設定を行う際の参考にしてください。

7-1 帳票の宛先情報を表示するエリアの設定ポイント

【該当エリア】

- ・縦型 標準帳票 (A4)・・・見出しエリア 1
- ・横型 標準帳票 (A4)・・・見出しエリア 1、見出しエリア 2

本エリアでは、帳票の宛先情報を表示させます。以下一例にならない、設定変更を行ってください。

💡 設定ポイント

「横型 標準帳票」を利用する場合、見出しエリア 2 の初期設定は未設定です。見出しエリア 2 に帳票の宛先情報を表示させる場合は、以下の例を参考に宛先情報を設定してください。

見出しエリア1	初期設定内容
〒{顧客.郵便番号}	
{顧客.住所1}	
{顧客.住所2}	
{顧客.顧客名}	
{顧客.部署名}	
{顧客.担当者名} {顧客.敬称}	

〒111-1111	表示イメージ
東京都〇〇区〇〇〇1-2-3	
〇〇	
ビル 3 階	
株式会社サンプル	
〇〇事業部	
〇〇 〇〇 様	

💡 設定ポイント

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	〒	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 郵便番号	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 住所1	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 住所2	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 顧客名	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 部署名	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 担当者名	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 敬称	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

郵便番号の記号は固定表示として、その後に顧客マスタの郵便番号を参照するように設定しています。
この場合、2つの項目を並べて表示させるために、1つめの項目(〒)には「改行」のチェックを入れません。

担当者名からの3項目はすべて横並びに表示されるように「改行」のチェックは入れていません。
また、真ん中の項目には「固定」で「半角スペース」が入っており、「担当者名様」ではなく「担当者名 様」と間にスペースが表示されるように設定しています。

「敬称」を「御中」や「様」など固定文字を表示させたい場合は「固定」を選択し、テキストボックスに表示させたい値を入力してください。

7-2 帳票の差出人情報を表示するエリアの設定ポイント

【該当エリア】

- ・縦型 標準帳票 (A4)・・・見出しエリア2
- ・横型 標準帳票 (A4)・・・見出しエリア3

本エリアでは、差出人（発行元）情報や振込情報、社印画像やロゴ画像を表示させます。

初期設定ではサンプルの値が入っていますので、必ず貴社情報に変更をし、使用してください。

見出しエリア2

株式会社〇〇〇〇
登録番号：T1234567890123

〒999-9999
東京都〇〇区1-2-3
〇〇ビル〇階
TEL：99-9999-9999(代表) FAX：99-9999-9999

振込先：〇〇銀行 〇〇支店
普通 99999999
口座名義：か)〇〇〇〇〇〇〇〇
支払期日：{帳票（見出し）.支払期日}

初期設定内容

ロゴ画像

社印画像

株式会社〇〇〇〇
登録番号：T1234567890123

(空行)

〒999-9999
東京都〇〇区〇〇〇1-2-3
〇〇ビル〇階
TEL：99-9999-9999(代表) FAX：99-9999-9999

(空行)

振込先：〇〇銀行 〇〇支店
(スペース) 普通 99999999
口座名義：か)〇〇〇〇〇〇〇〇
支払期日：2018/01/02

表示イメージ

 設定ポイント

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	株式会社○○○○	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	登録番号 : T1234567890123	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	〒999-9999	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	東京都○○区○○○1-2-3	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	○○ビル○階	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	TEL : 99-9999-9999(代表)	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	FAX : 99-9999-9999	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

初期設定では固定で発行元情報を表示するように入力しています。同じ帳票をグループ企業などでご利用する場合、この項目を帳票 CSV に追加することで、発行元企業情報を発行先ごとに変更することも可能です。

株式会社○○○○

登録番号 : T1234567890123

表示イメージ

(空行)

〒999-9999

東京都○○区○○○1-2-3

○○ビル○階

TEL : 99-9999-9999(代表) FAX : 99-9999-9999

(空行)

振込先 : ○○銀行 ○○支店

(スペース) 普通 9999999

口座名義 : ㇿ○○○○○○○

支払期日 : 2018/01/02

 設定ポイント

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
● 固定 ○ 可変		<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	振込先 :	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	〇〇銀行	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	〇〇支店	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	普通	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	9999999	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	口座名義 :	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	h)〇〇〇〇〇〇	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ○ 可変	支払期日 :	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
○ 固定 ● 可変	項目種別 : 帳票 (見出し) ▼ 対象項目 : 支払期日 ▼ 表示形式 : 2018/01/02 ▼	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

上の発行元情報との間に 1 段空行を入れています。

支払い通知などをご利用いただく場合は、口座情報も可変文字にすることにより、帳票ごとに異なる情報を表示させることも可能です。

固定文字「普通」の前には全角 5 文字分のスペースをいれ、「〇〇銀行」と「普通」の表示の開始位置（縦位置）が揃うように設定しています。

請求書の場合、支払期日などは毎月値が変わる項目のため、初期設定は帳票 CSV から参照する設定としています。

7-3 見出し項目での設定ポイント

見出し項目には、主に合計金額の表示をさせます。

見出しには2段分のスペースがあり、画面に表示されている「横幅合計」が最大値（「縦型 標準帳票」、「縦型 標準領収書」：567ピクセル、「横型 標準帳票」：814ピクセル）を超えないまでは項目の追加ができます。

項目の横幅合計：405ピクセル（最大：567ピクセル）

+	税抜計(10%)  	消費税(10%)  	税抜計(8%)  	消費税(8%)  	+
	{帳票(見出し).税抜金額(10%)} 	{帳票(見出し).消費税(10%)} 	{帳票(見出し).税抜金額(8%)} 	{帳票(見出し).消費税(8%)} 	合計金額  
					{帳票(見出し).合計金額} 

項目の横幅合計：243ピクセル（最大：567ピクセル）

+	(未設定)  	(未設定)  	(未設定)  	+
	(未設定) 	(未設定) 	(未設定) 	

また、見出し項目は横幅の表示文字数を超えた場合、折り返して表示される設定となっています。

（例）横幅45ピクセルに収まらない内容を表示した場合

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
	<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	金額折り返して表示	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

横幅 ピクセル

・帳票での表示

金額折り返して表示	消費税(10%)	税抜計(8%)	消費税(8%)	合計金額
12,345	12,345	12,345	12,345	12,345

また、見出し項目は画面上では2段分の表示スペースが設定されていますが、どちらか1段のみ設定した場合、レイアウトではスペースを詰められます。

・設定画面

項目の横幅合計：405ピクセル（最大：567ピクセル）

+	税抜計(10%)  	消費税(10%)  	税抜計(8%)  	消費税(8%)  	+
	{帳票(見出し).税抜金額(10%)} 	{帳票(見出し).消費税(10%)} 	{帳票(見出し).税抜金額(8%)} 	{帳票(見出し).消費税(8%)} 	合計金額  
					{帳票(見出し).合計金額} 

項目の横幅合計：0ピクセル（最大：567ピクセル）

2 段 目 未 設 定 の 場 合

◆明細 項目の横幅合計：567ピクセル（最大：567ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 

グループ設定の利用： する しない

日付  	商品名  	単価  	数量  	税率  	明細金額  
{帳票(明細).明細日付} 	{帳票(明細).商品名} 	{帳票(明細).明細単価} 	{帳票(明細).数量} 	{帳票(明細).税率}% 	{帳票(明細).明細金額} 
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:

・帳票での表示

税抜計(10%)	消費税(10%)	税抜計(8%)	消費税(8%)	合計金額
12,345	12,345	12,345	12,345	12,345

日付	商品名	単価	数量	税率	明細金額
2022/12/16	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	12,345	12,345	1,234%	12,345

7-4 見出し項目の条件付き表示設定

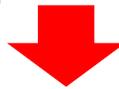
見出し項目では、任意の条件によって表示内容を変更できるようになっており、以下のような処理が可能です。

- ・ある項目が特定の値や空欄の場合、非表示にする
- ・ある項目が特定の値の場合、固定文言を表示させる
- ・ある項目が特定の値の場合、別項目の値を表示させる

(例) 顧客マスタ「担当者名」の値があるかないかによって、帳票レイアウト上で敬称「御中」と「様」の出し分け表示をする。

<用意する顧客マスタ例>

すべて		利用中	停止	開設待ち	顧客の新規登録		CSV一括登録	
最初	前の50件	次の50件	最後	(4件中 1 - 4 件表示)		50件	▼	
						CSV出力		
<input type="checkbox"/>	詳細	操作	Web利用	郵送依頼	顧客コード	顧客名	部署名	担当者名
<input type="checkbox"/>	詳細		利用中	対象外	ID0001	株式会社サンプル	経理部	ラクス太郎
<input type="checkbox"/>	詳細		利用中	対象外	ID0002	テスト1株式会社	経理部	



<表示された結果の帳票イメージ>

〒111-1111
 ○○県○○市○○
 ○○ビル
 A株式会社
 経理部
 ラクス太郎 様 ①

〒222-2222
 △△県△△市△△
 △△ビル
 B株式会社
 経理部 御中 ②

- ① 「担当者名」に値が入っていたら・・・ → 見出しエリア1上、
 「部署名」の後ろには何も表示せず、
 「担当者名」の後ろに固定文言「様」を表示する。
- ② 「担当者名」に値が入っていなかったら・・・ → 見出しエリア1上、
 「部署名」の後ろに固定文言「御中」を表示し、
 「担当者名」の後ろには何も表示しない。

見出しエリアの詳細は、「▼CSVデータの項目種別について」をご確認ください。

複数の条件が設定できますが、データ型「日付」の項目は表示条件に設定することはできません。

また、どの条件にも該当しない場合は、空白で表示されます。

【設定方法】

該当項目の  (鉛筆マーク) クリックし、設定画面に遷移します。

◆見出し

1ページ目のみ表示 非表示

見出しエリア1

〒{顧客.郵便番号}
 {顧客.住所1}
 {顧客.住所2}
 {顧客.顧客名}
 {顧客.部署名}
 {顧客.担当者名}

「条件によって表示内容を変更する」にチェックをし、「表示条件」を入力します。

また、その表示条件の結果によって、見出し上に表示させたい「内容」を併せて設定してください。

見出しエリア1の設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	表示条件	文字	内容
<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない	<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別: 顧客 対象項目: 部署名
<input checked="" type="radio"/> 指定する <input type="radio"/> しない	項目種別: 顧客 対象項目: 担当者名 条件: 次の値に等しくない (≠) 値:	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	
<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない	項目種別: 顧客 対象項目: 担当者名 条件: 次の値に等しい (=) 値:	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	御中
<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない	項目種別: 顧客 対象項目: 担当者名 条件: 次の値に等しくない (≠) 値:	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	様
<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> しない	項目種別: 顧客 対象項目: 担当者名 条件: 次の値に等しい (=) 値:	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	

「担当者名」の値が「空欄」と等しくなければ何も表示せず、「空欄」と等しかったら「御中」が表示されるように設定しています。

次の値に等しい (=)
 次の値に等しい (=)
 次の値に等しくない (≠)
 次の値より大きい (>)
 次の値より小さい (<)

「担当者名」の値が「空欄」と等しくなければ「様」を表示させ、「空欄」と等しかったら何も表示がされないように設定しています。

項目	説明
対象項目	表示内容を変更する際の、条件となる対象項目を選択します。
条件	以下の2つより表示条件を選択します。 次の値に等しい (=) 次の値に等しくない (≠) 次の値より大きい (>) 次の値より小さい (<)
値	条件となる特定の値を入力します。

8. 明細エリアの設定ポイント

本章では「縦型 標準帳票」「横型 標準帳票」の明細エリアの設定ポイントや特殊処理を記載します。対象エリアの設定を行う際の参考にしてください。

8-1 明細項目での設定ポイント

明細項目は明細項目名、明細データともに、行の高さが固定です。そのため、横幅の表示文字数を超えた場合は「切り捨て」となります。

データをすべて表示させる必要がある場合は、あらかじめ行の高さに余裕をもたせ、複数行表示が可能な高さに設定をしてください。

行の高さの設定

◆明細 項目の横幅合計：567ピクセル（最大：567ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 

グループ設定の利用：○する ●しない

日付	商品名	単価	数量	税率	明細金額
{帳票(明細).明細日付}	{帳票(明細).商品名}	{帳票(明細).明細単価}	{帳票(明細).数量}	{帳票(明細).税率}%	{帳票(明細).明細金額}
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:

明細データ行の高さの設定

高さ（ピクセル） [初期値に戻す](#)

OK

キャンセル

また、明細1行分を2段構成にすることも可能です。

(例) 上段に「単価」「下段に「数量」を表示させる設定

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別： <input type="text" value="帳票(明細)"/> 対象項目： <input type="text" value="明細単価"/> <input type="checkbox"/> 通貨記号あり <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別： <input type="text" value="帳票(明細)"/> 対象項目： <input type="text" value="数量"/> <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする	<input type="checkbox"/>	<input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>

・帳票での表示

単価 数量	明細金額
12,345 12,345	12,345

8-2 明細項目の条件付き表示設定

明細項目では、任意の条件によって表示内容を変更できるようになっており、以下のような処理が可能です。

- ・ある項目が特定の値や空欄の場合、非表示にする
- ・ある項目が特定の値の場合、固定文言を表示させる
- ・ある項目が特定の値の場合、別項目の値を表示させる

(例) 帳票 CSV の「明細区分」の値によって、帳票レイアウト上に固定文言を表示させたり、CSV 上の特定の値を非表示にする。

<用意する帳票 CSV 例>

対象日付	顧客コード	顧客名	金額 (税抜)	消費税	合計金額 (税込)	支払期日	明細日付	商品名	数量	単位	単価	明細金額	明細区分
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	2016/12/2	A	1	個	30000	32400	0
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	2016/12/8	B	1	個	20000	21600	0
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	2016/12/19	C	1	個	50000	54000	0
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31				個		8000	1
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31				個		108000	2
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	2016/12/2	D	1	個	10000	10800	0
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	2016/12/8	E	1	個	20000	21600	0
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	2016/12/19	F	1	個	30000	32400	0
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31				個		4800	1
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31				個		64800	2



<表示された結果の帳票イメージ>

日付	商品名	数量	単位	単価	金額
2016/12/02	A	① 1	個	③ 30,000	32,400
2016/12/08	B	1	個	20,000	21,600
2016/12/19	C	1	個	50,000	54,000
		②		④ うち消費税	8,000
				⑤ 小計	108,000
2016/12/02	D	1	個	10,000	10,800
2016/12/08	E	1	個	20,000	21,600
2016/12/19	F	1	個	30,000	32,400
				うち消費税	4,800
				小計	64,800

- ① 「数量」に値が入っていたら・・・ → 明細上「単位」の列に、帳票 CSV「単位」の値を表示する
- ② 「数量」に値が入っていなかったら・・・ → 明細上「単位」の列にて、帳票 CSV「単位」の値は非表示にする
- ③ 「明細区分」が「0」だったら・・・ → 明細上「単価」の列に、帳票 CSV「単価」の値を表示する
- ④ 「明細区分」が「1」だったら・・・ → 明細上「単価」の列に、固定文言「うち消費税」を表示する
- ⑤ 「明細区分」が「2」だったら・・・ → 明細上「単価」の列に、固定文言「小計」を表示する

データ型「日付」の項目は表示条件に設定することはできません。

また、帳票 CSV にどの条件にも該当しない値が含まれた場合は、帳票上の項目に空白で表示されます。

【設定方法】

該当項目の  (鉛筆マーク) クリックし、設定画面に遷移します。

◆明細 項目の横幅合計：567ピクセル（最大：567ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 

グループ設定の利用： する しない

日付	商品名	数量	単位	単価	金額
{帳票(明細).明細日付}	{帳票(明細).商品名}	{帳票(明細).数量}	{帳票(明細).単位}	{帳票(明細).消費税(明細)}	{帳票(明細).明細金額}
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:

「条件によって表示内容を変更する」にチェックをし、「表示条件」を入力します。

また、その表示条件の結果によって、明細上に表示させたい「内容」を併せて設定してください。

明細データの設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容

表示条件	文字	内容
<input checked="" type="radio"/> 指定する <input type="radio"/> しない 項目種別：帳票(明細) ▼ 対象項目：数量 ▼ 条件：次の値に等しくない(≠) ▼ 値： <input type="text"/>	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	項目種別：帳票(明細) ▼ 対象項目：単位 ▼
<input checked="" type="radio"/> 指定する <input type="radio"/> しない 項目種別：帳票(明細) ▼ 対象項目：数量 ▼ 条件：次の値に等しい(=) ▼ 値： <input type="text"/>	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	

「数量」の値が「空欄」と等しくなければ「単位」の値を表示させ、「空欄」と等しかったら何も表示がされないように設定しています。

次の値に等しい(=) ▼
 次の値に等しい(=)
 次の値に等しくない(≠)
 次の値より大きい(>)
 次の値より小さい(<)

項目	説明
対象項目	表示内容を変更する際の、条件となる対象項目を選択します。
条件	以下の4つより表示条件を選択します。 次の値に等しい(=) 次の値に等しくない(≠) 次の値より大きい(>) 次の値より小さい(<)
値	条件となる特定の値を入力します。

◆明細 項目の横幅合計：567ピクセル（最大：567ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル

グループ設定の利用： する しない

日付	商品名	数量	単位	単価	金額
{帳票(明細).明細日付}	{帳票(明細).商品名}	{帳票(明細).数量}	{帳票(明細).単位}	{帳票(明細).消費税(明細)}	{帳票(明細).明細金額}
:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:

明細データの設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容

表示条件	文字	内容
<input checked="" type="radio"/> 指定する <input type="radio"/> しない 項目種別: 帳票(明細) 対象項目: 明細区分 条件: 次の値に等しい(=) 値: 0	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変 項目種別: 帳票(明細) 対象項目: 単価 <input type="checkbox"/> 通貨記号あり <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする	うち消費税
<input checked="" type="radio"/> 指定する <input type="radio"/> しない 項目種別: 帳票(明細) 対象項目: 明細区分 条件: 次の値に等しい(=) 値: 1	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変	小計

次の値に等しい(=)

次の値に等しい(=)

次の値に等しくない(≠)

次の値より大きい(>)

次の値より小さい(<)

「明細区分」の値が「0」と等しければ「単価」の値を表示させ、「1」と等しければ固定文言「うち消費税」と表示させ、「2」と等しければ固定文言「小計」と表示されるように設定しています。

8-3 明細項目のグループ設定

明細項目では、ある項目が同じ値の場合その値ごとにグループ設定を行い、明細上でグループヘッダーやグループフッターを表示することができます。

(例) 帳票 CSV の「支店コード」ごとにグルーピングを行い、「支店コード」ごとに「明細金額」の小計を表示させる。

<用意する帳票 CSV 例>

対象日付	顧客コード	顧客名	金額 (税抜)	消費税	合計金額 (税込)	支払期日	支店コード	支店名	明細日付	商品名	数量	単価	明細金額
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	10000-1	東京支店	2016/12/2	A	1	30000	32400
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	10000-1	東京支店	2016/12/8	B	1	20000	21600
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	10000-1	東京支店	2016/12/19	C	1	50000	54000
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	10000-2	大阪支店	2016/12/2	D	1	10000	10800
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	10000-2	大阪支店	2016/12/8	E	1	20000	21600
2016/12/1	10000	A株式会社	160000	12800	172800	2016/12/31	10000-2	大阪支店	2016/12/19	F	1	30000	32400

<表示された結果の帳票イメージ>

日付	商品名	数量	単価	金額
支店コード：10000-1				
2016/12/02	A	1	30,000	32,400
2016/12/08	B	1	20,000	21,600
2016/12/19	C	1	50,000	54,000
小計				① 108,000
支店コード：10000-2				
2016/12/02	D	1	10,000	10,800
2016/12/08	E	1	20,000	21,600
2016/12/19	F	1	30,000	32,400
小計				② 64,800

① 「支店コード」 10000-1 のお客様の明細金額小計・・・108,000 円

② 「支店コード」 10000-2 のお客様の明細金額小計・・・64,800 円



クラウド帳票発行サービス内で集計された結果の値は、帳票の表示上でのみ確認することができます。

グルーピングは 1 階層のみ行うことができます。複数のグルーピングを行うことはできません。

【設定方法】

「グループ設定の利用」を「する」に変更し、グループの単位となる対象項目を選択します。

また、グルーピングをした値ごとに、改ページを行う場合はチェックをしてください。

◆明細 項目の横幅合計：567ピクセル（最大：567ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 

グループ設定の利用： する しない

グループの単位とする項目： グループごとに改ページする 

それぞれグループヘッダー・グループフッターの表示を「する」に変更し、該当項目の （鉛筆マーク）をクリックして設定画面に遷移します。

日付	商品名	単価	数量	明細金額
グループヘッダーの表示： <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない				
項目の横幅合計：81ピクセル（最大：814ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 				
(未設定)  				
{帳票（明細）.明細日付}	{帳票（明細）.商品名}	{帳票（明細）.明細単価}	{帳票（明細）.数量}	{帳票（明細）.明細金額}
:	:	:	:	:
:	:	:	:	:
グループフッターの表示： <input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない				
項目の横幅合計：162ピクセル（最大：814ピクセル） 1行あたりの高さ設定：22ピクセル 				
(未設定)  (未設定)  				

💡グループヘッダーの設定ポイント

表示内容	文字	内容	変更
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変 <input type="radio"/> 可変（グループ集計）	支店コード：	<input type="text" value=""/>	
	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> 可変 <input type="radio"/> 可変（グループ集計）	項目種別：帳票（明細） 対象項目：支店コード	<input type="text" value=""/>

横幅 ピクセル

- 明細日付
- 商品名
- 数量
- 単価
- 明細金額
- 消費税（明細）
- 税抜（明細）
- 明細備考
- 明細区分
- 伝票番号
- 支店コード
- 支店名

固定文字「支店コード：」の後に続いて、グループの単位となる「支店コード」の値が入るように設定しています。

横幅は最大値の567ピクセルにしています。

<表示された結果の帳票イメージ>

日付	商品名	数量	単価	金額
支店コード：10000-1				
2016/12/02	A	1	30,000	32,400
2016/12/08	B	1	20,000	21,600
2016/12/19	C	1	50,000	54,000
小計				108,000

💡 グループフッターの設定ポイント

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変 <input type="radio"/> 可変 (グループ集計)		小計	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
横幅	486	ピクセル			

固定文字「小計」が表示される項目と、グループ集計後の値が表示される項目で、1行に2つ項目を表示させています。

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変 <input checked="" type="radio"/> 可変 (グループ集計)		項目種別: 帳票 (明細) 対象項目: 明細金額 <input type="checkbox"/> 通貨記号あり <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする	<input type="checkbox"/>		
横幅	81	ピクセル			

グループ単位で集計を行う場合、「可変 (グループ集計)」を選択し、計算させたい対象項目 (明細金額) を設定します。

<表示された結果の帳票イメージ>

日付	商品名	数量	単価	金額
支店コード: 10000-1				
2016/12/02	A	1	30,000	32,400
2016/12/08	B	1	20,000	21,600
2016/12/19	C	1	50,000	54,000
小計				108,000

明細項目の「金額」欄と表示幅が合うように、横幅は同じ値に設定します。

横幅	567	ピクセル
全項目の横幅の合計が567ピクセル以内になるように調整してください。実際のレイアウトはプレビューで確認することができます。		
フォントサイズ	11	▼
横位置	<input checked="" type="radio"/> 左揃え <input type="radio"/> 中央 <input type="radio"/> 右揃え	
縦位置	<input type="radio"/> 上揃え <input checked="" type="radio"/> 中央 <input type="radio"/> 下揃え	
余白 (ピクセル)	上 2	下 2
	左 2	右 2
罫線 (左)	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
(右)	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	

項目	説明
罫線 (左) (右)	該当エリアの左右に罫線を表示させるか設定します。

※その他の表示内容の設定方法については「[6-3 表示内容の設定について](#)」をご確認ください。

9. 領収書レイアウト編集

本章では「縦型 標準領収書」のレイアウト編集について記載します。帳票 CSV の取込フォーマット設定を完了後、帳票レイアウトの設定を行います。レイアウト設定画面の概要は「[6.帳票レイアウト編集](#)」をご確認ください。

9-1 領収書レイアウトの設定にあたり

クラウド帳票発行サービスでの領収書（1 PDF）の作成単位と、CSV データの項目種別については以下のとおりです。

▼帳票作成単位について

領収書レイアウトでは、取り込んだ帳票 CSV 上の 1 行のデータごとに 1PDF の領収書を作成します。

CSV 取込設定で帳票 No を設定すると、領収書の作成単位として指定することができます。

この項目はクラウド帳票発行サービス内で重複することができず、既に取り込み済みの帳票 No のデータをアップロードすると、

エラーが発生します。（差替発行の場合は帳票 No をキーとして差替を行います。）

もし、帳票 CSV 上に帳票 No を準備できない場合は、クラウド帳票発行サービス内で顧客コードごとに番号を自動採番することも可能です。

- ・ CSV 取込設定で帳票 No を設定した場合 ⇒取り込んだ帳票 No ごとに領収書（1 PDF）を作成します。

対象日付	帳票No	顧客コード	合計金額	振込	現金	
2019/10/01	20191001-1	10000	11,000	11,000		1PDF
2019/10/01	20191001-2	10000	22,000		22,000	1PDF
2019/10/01	20191001-3	20000	33,000	33,000		1PDF

- ・ 顧客コードごとに自動採番する場合 ⇒顧客コードごとに帳票 No を自動採番し 1 PDF を作成します。

対象日付	顧客コード	合計金額	振込	現金	
2019/10/01	10000	11,000	11,000		1PDF
2019/10/01	20000	22,000		22,000	1PDF
2019/10/01	30000	33,000	33,000		1PDF

顧客コードごとに帳票 No を自動採番した場合のルールは以下のとおりです。

帳票 No のルール：R + 帳票種別 ID(2 桁) + 取込 ID(6 桁) + _ + 顧客コード(8 桁)

※帳票種別 ID と取込 ID と顧客コードについて、桁数に満たない場合は 0 埋めされて表示されます。

▼CSVデータの項目種別について

帳票 CSV にご用意いただく帳票項目は、すべて「見出し」と「明細」という項目種別に分かれます。

見出し：1つの帳票 No に対して、全体に関する情報です。(ヘッダや見出し、フッターに表示させたい内容)

明細：1つの帳票 No に対して、複数行存在する情報です。(明細部分に表示させたい内容)

- ・領収書の場合、帳票 CSV にご用意いただく帳票項目は、すべて「見出し」という項目種別になります。同じ CSV 上に同一顧客コードのデータがあった場合、同一顧客コードの最終行でのみ帳票が作成されます。
- ・帳票レイアウト編集画面では「明細項目」を設定することはできません。
- ・顧客コードごとに帳票 No を自動採番する場合、以下のように同一顧客コード宛の領収書を複数取り込むことはできません。同一顧客コード宛の領収書を複数取り込む必要がある場合は、CSV 取込設定で帳票 No を設定するか、顧客コードごとに取り込む CSV データを分けてください。

対象日付	顧客コード	合計金額	振込	現金	
2019/10/01	10000	11,000	11,000		×
2019/10/01	10000	22,000		22,000	1PDF
2019/10/01	30000	33,000	33,000		1PDF

※帳票項目の設定方法については「[4-2 帳票項目の設定](#)」をご確認ください。

・データ例

【正しいデータ】

見出し					
対象日付	帳票No	顧客コード	合計金額	振込	現金
2019/10/01	20191001-1	10000	11,000	11,000	
2019/10/01	20191001-2	20000	22,000		22,000
2019/10/01	20191001-3	30000	33,000	33,000	

項目種別が「見出し」のみなので、正しいデータです。

【誤ったデータ】

見出し			明細		
対象日付	帳票No	顧客コード	合計金額	振込	現金
2019/10/01	20191001-1	10000	11,000	11,000	
2019/10/01	20191001-1	20000	22,000		22,000
2019/10/01	20191001-3	30000	33,000	33,000	

項目種別に「明細」が入っているので、誤ったデータです。

9-2 領収書レイアウトのエリアについて

領収書は複数のエリアで構成されています。それぞれのエリアについては以下のとおりです。

基本の操作方法（「[6-2 レイアウトの設定について](#)」）は共通ですが、色分けしているエリアごとに多少操作が異なりますので、以下カテゴリごとの操作方法をご確認ください。

▼設定カテゴリについて

The screenshot displays the receipt layout settings interface. It is organized into several sections:

- ヘッダー**: Includes a visibility toggle (表示/非表示) and a **ヘッダーエリア** (Header Area) containing fields for '発行日 (領票 (見出し) 社会日付) No. (領票 (見出し) 社会日付)'.
- 見出し**: Contains a **タイトル1** (Title 1) field with the text '領収書'.
- 見出しエリア1**: A yellow area for '(顧客, 顧客名) (顧客, 敬称)'.
- 見出しエリア2**: A blue area for '金額 (領票 (見出し) 合計金額) = 金額'.
- 見出しエリア2**: A yellow area for a message: '但し、上記の金額を正に領収いたしました。' and an '印紙画像' (Stamp Image) field.
- 見出しエリア3**: A yellow area for '(未設定)'.
- 見出し項目名**: A table with columns for '現金', '振込', '手形', and '相殺', each with a visibility toggle and a '(未設定)' value.
- 見出しデータ**: A table with columns for '現金', '振込', '手形', and '相殺', each with a visibility toggle and a '(未設定)' value.
- 見出しエリア4**: A yellow area for contact information including '〒999-9999', '東京都〇〇区1-2-3', '〇〇ビル 〇階', '株式会社〇〇〇〇', and 'TEL : 99-9999-9999(代表)FAX : 99-9999-9999', along with 'ロゴ画像' (Logo Image) and '社印画像' (Company Seal Image) fields.
- フッター**: Includes a visibility toggle and a **フッターエリア** (Footer Area) for '{領票 (見出し) .備考}'.

カテゴリ	対象エリア
エリア1	タイトル
エリア2	ヘッダーエリア、見出しエリア1～4、フッターエリア
エリア3	見出し項目名
エリア4	見出しデータ

※各カテゴリごとの操作方法是、「[6-2 レイアウトの設定について](#)」の▼エリア1～エリア4をご確認ください。

※エリアごとの設定ポイントについては、後述の「[9-4 領収書レイアウトの設定ポイント](#)」をご確認ください。

9-3 印紙の表示

領収書に印紙画像を設定する場合は、「見出しエリア2」に設定することができます。

見出しエリア2

但し、
上記の金額を正に領収いたしました。



見出しエリア2の設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	改行	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		但し、	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変		上記の金額を正に領収いたしました。	<input type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

フォントサイズ

行間

横幅の表示文字数
を超えた場合 折り返して全体を表示 切り捨て

横位置 左揃え 中央 右揃え

縦位置 上揃え 中央 下揃え

高さ (ピクセル) 初期値に戻す

余白 (ピクセル) 上 下 左 右

印紙画像

対応ファイル: .jpeg, .jpg, .gif, .png

OK

見出しエリア2の設定内の「印紙画像」に表示
させたい画像を設定し、『OK』をクリックします。

「帳票レイアウト編集」画面上では、設定した画
像がサムネイル表示されます。

帳票レイアウト編集画面で設定できる印紙画像の対応ファイル条件は以下のとおりです。

対応ファイル: .gif、.jpeg、.jpg、.png 最大容量: 2MB

画像の移動やサイズ調整は、「帳票レイアウト編集」画面上で行えます。

- ・ 画像の移動
- ・ 画像のサイズ調整



画像のサイズ調整を行う場合、縦横どちらか一边のみ調整をしても画像のサイズは変わりません。

縦横両方の長さを調整すると、縦横比は維持したまま、画像の長辺を枠に合わせ、画像全体が枠内に収まるようにサイズが調整されます。

9-4 領収書レイアウトの設定ポイント

本章では領収書の各エリアの設定ポイントを記載します。対象エリアの設定を行う際の参考にしてください。

■見出しエリアの設定ポイント

▼見出しエリア1・・・本エリアでは、領収書の宛先の情報を表示させます。初期設定では以下の内容が設定されていますので、必要に応じて項目の追加など設定変更を行ってください。

見出しエリア1

初期設定内容

{顧客.顧客名} {顧客.敬称}

株式会社〇〇 御中

表示イメージ

▼見出しエリア2・・・本エリアでは、但し書きや印紙画像を表示させます。初期設定では以下の内容が設定されていますので、必要に応じて文言の追加や印紙画像の追加など設定変更を行ってください。

見出しエリア2

初期設定内容

但し、
上記の金額を正に領収いたしました。

印紙画像

但し、
上記の金額を正に領収いたしました。

表示イメージ

▼見出しエリア3・・・初期設定では見出しエリア3の初期設定は未設定です。必要に応じて項目の追加など設定変更を行ってください。

▼見出しエリア4・・・本エリアでは、発行元情報や振込情報、社印画像やロゴ画像を表示させます。

初期設定ではサンプルの値が入っていますので、必ず貴社情報に変更をし、使用してください。

見出しエリア4

初期設定内容

〒999-9999
東京都〇〇区1-2-3
〇〇ビル〇階
株式会社〇〇〇〇
TEL : 99-9999-9999(代表) FAX : 99-9999-9999

ロゴ画像

社印画像

〒999-9999

東京都〇〇区〇〇〇1-2-3

〇〇ビル〇階

株式会社〇〇〇〇

TEL : 99-9999-9999(代表) FAX : 99-9999-9999

表示イメージ

💡 設定ポイント

文字	内容	改行	表示順	追加/削除
● 固定 ● 可変	〒999-9999	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	東京都〇〇区1-2-3	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	〇〇ビル〇階	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	株式会社〇〇〇〇	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	TEL : 99-9999-9999(代表)	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	FAX : 99-9999-9999	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

● 固定 ● 可変	項目種別: 帳票 (見出し) ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	対象項目: 郵便番号 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	項目種別: 帳票 (見出し) ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -
● 固定 ● 可変	対象項目: 住所 1 ▼	<input checked="" type="checkbox"/>	▲ ▼	+ -

初期設定では固定で発行元情報を表示するように入力しています。同じ帳票をグループ企業などご利用する場合、この項目を帳票 CSV に追加することで、発行元企業情報を発行先ごとに変更することも可能です。

■タイトルの設定ポイント

▼タイトル2・・・本エリアでは、領収書の領収金額を表示させます。初期設定では以下の内容が設定されています。

タイトル2

初期設定内容

金額 { 帳票 (見出し) . 合計金額 } 二

表示イメージ

金額 ¥12,345-

💡 設定ポイント

タイトルの設定

条件付き表示 条件によって表示内容を変更する

表示内容	文字	内容	表示順	追加/削除
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	金額		▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	項目種別: 帳票 (見出し) 対象項目: 合計金額			
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	<input checked="" type="checkbox"/> 通貨記号あり 通貨記号: ¥ <input type="checkbox"/> 前に表示 <input type="radio"/> 後ろに表示 <input type="checkbox"/> 小数点以下の処理をする		▲ ▼	+ -
<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> 可変	-		▲ ▼	+ -

横幅 567 ピクセル 初期値に戻す

フォントサイズ 18

横位置 左揃え 中央 右揃え

縦位置 上揃え 中央 下揃え

OK キャンセル

フォントサイズを大きくすることで、領収金額を強調できます。

フォントサイズ

18

■見出し項目の設定ポイント

見出し項目では、主に金額の表示をさせます。横幅の合計値を超えない範囲で項目の追加ができます。

項目の横幅合計: 486ピクセル (最大: 567ピクセル)

+				+			
現金	振込	手形	相殺	(未設定)	(未設定)	(未設定)	(未設定)
{ 帳票 (見出し) . 現金 }	{ 帳票 (見出し) . 振込 }	{ 帳票 (見出し) . 手形 }	{ 帳票 (見出し) . 相殺 }	(未設定)	(未設定)	(未設定)	(未設定)

💡 設定ポイント

現金

{ 帳票 (見出し) . 現金 }

見出し項目が不要な場合には、🗑️ (ごみ箱マーク) をクリックして削除してください。
初期設定で設定されているすべての項目を削除することもできます。

見出し項目の「表示内容」の設定方法については「[6-3 表示内容の設定について](#)」～「[6-5 可変文字の表示設定について](#)」をご確認ください。

10. 設定済み帳票の管理

設定をした帳票に関する管理方法は以下のとおりです。

10-1 帳票のコピー

作成済みの帳票レイアウトや、設定済みの CSV 設定をコピーし、別の帳票を作成することができます。

①帳票の設定画面にて、元の帳票設定の『詳細』をクリックします。

帳票の設定

新規登録								
表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ

②帳票の詳細画面で『コピー』をクリックします。

帳票種別ID	1
表示順	1
帳票名	請求書
帳票テンプレート	縦型 標準帳票
宛先コード	利用する
金額項目	指定なし

編集 **コピー** 削除

③コピー登録の画面で帳票名の入力をし、『登録する』をクリックします。

帳票の新規登録（コピー登録）

帳票名 (必須)	納品書
帳票テンプレート	縦型 標準帳票
宛先コード	利用する
金額項目	指定なし

※CSV取込フォーマット設定、帳票レイアウト設定もコピーして登録します。

登録後、各設定画面より修正ができます。

登録する

④必要に応じて各設定画面から設定変更を行います。

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ
2	詳細		納品書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ

10-2 帳票設定の削除

作成済みの帳票レイアウトや、設定済みの CSV 設定を削除する方法は以下のとおりです。

CSV データの取込を行った帳票の設定は削除できませんので、ご注意ください。

①帳票の設定画面にて、削除をしたい帳票の『詳細』をクリックします。

帳票の設定

新規登録

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ

②帳票の詳細画面で『削除』をクリックします。

帳票種別ID	1
表示順	1
帳票名	請求書
帳票テンプレート	縦型 標準帳票
宛先コード	利用する
金額項目	指定なし

編集 コピー **削除**

③確認画面で『削除』をクリックします。

✕

請求書を削除します。
よろしいですか？

削除
キャンセル

10-3 帳票名の変更

作成済みの帳票レイアウトは、帳票名を変更することができます。

①帳票の設定画面にて、帳票名を変更したい帳票の、鉛筆のアイコンをクリックします。

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ
2	詳細		納品書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ 未設定

②帳票の編集画面にて、帳票名を変更し、『変更する』をクリックします。

帳票種別ID	1
表示順	1
帳票名 (必須)	支払通知書
帳票テンプレート	縦型 標準帳票
宛先コード	<input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない
金額項目	指定なし ▾

変更する

弊社にてカスタマイズ設定を行った帳票については、編集画面での帳票名変更はできません。

設定変更が必要な場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		お知らせ	お知らせ		編集不可	編集不可	編集不可
2	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ
3	詳細		納品書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ
4	詳細		納品書PDF	カスタム帳票	指定なし	設定画面へ	カスタム帳票のため編集不可	カスタム帳票のため編集不可

帳票種別ID	2
表示順	4
帳票名	納品書PDF
帳票テンプレート	カスタム帳票
宛先コード	<input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない

10-4 帳票ごとの宛先コード利用の ON/OFF 設定

帳票ごとに、宛先コードを利用するかしないかを選択することができます。

①設定を変更したい帳票の、『詳細』をクリックします。

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定	計算項目の設定	レイアウト設定
1	詳細		請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ
2	詳細		納品書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ	設定画面へ	設定画面へ 未設定

②「宛先コード」で発行先をまとめたくない場合、「利用しない」を選択します。

帳票名 (必須)	請求書
帳票テンプレート	縦型 標準帳票
宛先コード	<input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない
金額項目	指定なし ▾

変更する

③『変更する』をクリックします。

宛先コード	<input type="radio"/> 利用する <input checked="" type="radio"/> 利用しない
金額項目	指定なし ▾

変更する

宛先コードの詳細は、「[3-6 その他システム項目の設定方法](#)」をご確認ください。

10-5 帳票ごとの金額項目の設定

帳票ごとに、帳票管理画面、マイページでの検索対象となる「金額項目」を設定することができます。

①設定を変更したい帳票の、『詳細』をクリックします。

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定
...	1	詳細	請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ
...	2	詳細	納品書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ
...	3	詳細	納品書PDF	カスタム帳票	指定なし	設定画面へ

②「金額項目」として指定したい帳票項目を選択します。

表示順	1
帳票名 (必須)	請求書
帳票テンプレート	縦型 標準帳票
宛先コード	<input checked="" type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない
金額項目	(指定しない) ▼ (指定しない) 税抜金額 消費税 合計金額
<input type="button" value="変更する"/>	
≪ 帳票の設定に戻る	

③「変更する」をクリックします。

金額項目	合計金額 ▼
<input type="button" value="変更する"/>	
≪ 帳票の設定に戻る	

「金額項目」として設定できるのは、該当帳票の帳票項目のうち、データ型が「通貨」「数値」の見出し項目のみです。

「利用登録のご案内」は金額項目の設定はできません。

帳票を ZIP ファイルから取り込む運用の場合は、本設定の前に次項「[10-6 帳票ファイル一括取込時に CSV ファイルを合わせて取り込む設定](#)」を設定する必要があります。

10-6 帳票ファイル一括取込時に CSV ファイルを合わせて取り込む設定

ZIP ファイルをアップロードする際に、CSV ファイルを合わせて取り込むことができます。

帳票データと CSV の値を紐づけることで、帳票管理画面およびマイページの「キーワード検索」欄で対象日付や金額等を検索可能になります。

- ・帳票データと CSV ファイルの値は、顧客コードをキーに紐付けを行います。
そのため、CSV ファイル内に顧客コードは必須となります。
- ・帳票データおよび CSV ファイル内に、同一顧客コードのデータが複数あった場合、取り込み時にエラーとなります。取込データ内で顧客コードが重複しないようデータをご準備ください。

①帳票データ（CSV ファイル）を合わせて取り込みたい帳票の、『設定画面へ』をクリックします。

表示順	詳細	操作	帳票名	テンプレート名	金額項目	CSV設定
...	1	詳細	請求書PDF	PDFファイル	指定なし	設定画面へ
...	2	詳細	請求書	縦型 標準帳票	指定なし	設定画面へ

②「CSV データ取込」の「利用する」にチェックをいれます。

帳票種別ID	1
帳票名	請求書PDF
CSVデータ取込	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する ※CSVで対象日付や金額の情報を取り込めるようになります。

③項目の追加や並び替えをします。

左側の「帳票 CSV 項目」は上から順番に、取り込む CSV の列順となるように設定ください。

右側の候補からドラッグ&ドロップで取込項目を選択して、項目の並び順を設定してください。

帳票CSV項目	候補
すべてクリア 1 見出し項目：顧客コード →	←すべて移動 1 見出し項目：対象日付 2 見出し項目：会社名 3 見出し項目：税抜金額 4 見出し項目：消費税 5 見出し項目：支払期日 6 見出し項目：備考 7 見出し項目：その他金額 8 見出し項目：仮書き 9 見出し項目：数値（見出し） 10 見出し項目：合計金額
↑スキップ項目を 1個 ▼ 追加	
変更する	

必要な項目が右側の「候補」にない場合は、「帳票項目の設定」より追加する必要があります。

「帳票項目の設定」については「[4-2 帳票項目の設定](#)」をご参照ください。

④ 「変更する」 をクリックします。

↑ スキップ項目を 1個 ▼ 追加

変更する

11. 帳票のファイル名設定

11-1 帳票ファイル名のルール設定

帳票のファイル名の設定を行います。弊社にて設定を行った帳票についてもファイル名変更が可能です。ファイル名は固定文字や顧客項目・帳票項目やシステム項目を組み合わせて設定することができます。

①メニュー > 基本設定 > システム設定画面に遷移します。

基本設定

スタッフ管理

スタッフ情報の新規登録、編集、削除を行います。

権限パターン設定

権限パターンの新規登録、編集、削除を行います。

パスワード設定

スタッフユーザ、お客様のパスワードに関する設定を行います。

システム設定

システム全体に関する設定を行います。

②帳票ファイル名のルール設定で、設定したい帳票の  (鉛筆マーク) をクリックし、設定画面に遷移します。

帳票ファイル名のルール設定

CSV連携で帳票を作成した場合のPDFファイルのファイル名です。

操作	帳票種別ID	帳票名	ファイル名のルール
	1	請求書	{帳票,帳票種別ID}_{顧客,顧客コード}_{顧客,顧客名}.pdf
	4	納品書	{帳票,帳票種別ID}_{顧客,顧客コード}_{帳票,帳票No}.pdf

③ファイル名のルールを設定します。

ファイル名のルール

ファイル名のルール

{帳票,帳票種別ID}_{顧客,顧客コード}_{顧客,顧客名}.pdf

可変文字	帳票項目	帳票種別ID	
固定文字	_		×
可変文字	顧客項目	顧客コード	×
固定文字	_		×
可変文字	顧客項目	顧客名	×

項目の追加

※このダイアログで「OK」ボタンを押下した時点では、変更は確定されません。

OK

キャンセル

項目を追加する場合は『項目の追加』をクリックします。

追加した項目を消す場合は『×』をクリックします。

■項目の設定方法

可変文字 ▼	帳票項目 ▼	宛先コード ▼	✕
固定文字 ▼	_		

・可変文字

顧客項目や帳票項目をファイル名に挿入する場合に選択します。

帳票項目を選択した場合は、見出し項目とシステム項目のみ選択ができます。

ファイル名に指定できるシステム項目は以下のとおりです。

項目名	説明
取込 ID	帳票データの取り込みごとに採番される ID。
PDF 作成日	承認完了日
対象日付	CSV に項目を設定していない場合は帳票データの取込日
帳票種別 ID	帳票ごとに設定されている ID

・固定文字

固定で記号や文字（帳票名）などを挿入したい場合に選択します。選択後テキストボックスに文字を入力してください。

帳票ファイル名のルール設定			
CSV連携で帳票を作成した場合のPDFファイルのファイル名です。			
操作	帳票種別ID	帳票名	ファイル名のルール
	1	請求書	{帳票.帳票種別ID}_{顧客.顧客コード}_{顧客.顧客名}.pdf
	4	納品書	{帳票.帳票種別ID}_{顧客.顧客コード}_{帳票.帳票No}.pdf

各項目を設定後、『OK』をクリックし、設定したルールを確認後『変更する』をクリックしてください。